

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.70 ~ Ver.2.77 >

## 目次

---

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>【改正情報】</b>   |   |
| 新元号(改元)に対応しました。 | 2 |

- **新元号(改元)に対応しました。**

改元日2019年5月1日以後の日付から、新元号の日付に切り替わります。

○日付の入力では、暦表示が和暦の場合に、入力月にしたがって元号の表示が切り替わります。

※4月までは「平成」に、5月からは新元号の表示に切り替わります。

平成 31年5月 → 新元号 1年5月

新元号 1年4月 → 平成 31年4月

○画面表示や印刷、転送・汎用データ作成では、暦表示が和暦の場合に改元日以後は新元号で出力されます。

○汎用データ受入では、「日付」項目の書式が和暦形式の場合に、改元日以後は新元号の日付で受け入れできます。

※なお、改元日以後に「平成」の日付のままでも受け入れできます。

例) 「平成31年5月」は「新元号1年5月(2019年5月)」として受入

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.69 >

|  |   |
|--|---|
| <b>【改正情報】</b>  |   |
| 消費税10%への対応   | 2 |
| 軽減税率制度への対応   | 2 |
| 汎用データ受入の対応   | 2 |
| <b>【定型資金管理】</b>  |   |
| 仕訳伝票が作成済みの借入金（貸付金）でも、返済回数と毎回の元金返済金額（回収回数と毎回の元金回収金額）を変更できるようになりました。 | 2 |

### ● 消費税10%への対応

- 取引日付にもとづいた税率の自動判定  
取引の日付にあわせて税率を自動判定し、税率改定後もミスなくスムーズに入力できます。
- 旧税率8%（取引先に合わせる場合や経過措置の取引）の計上  
前回の8%への改定と同様に、今回も経過措置が設けられています。  
取引ごとに税率を8%に変更できます。

### ● 軽減税率制度への対応

- 勘定科目・補助科目の税率種別をもとに税率を初期表示します。  
※軽減税率の対象となる品目は、国税庁のホームページを参照

### ● 汎用データ受入の対応

- 新税率10%に対応
- 軽減税率品目の取引用に、受入項目「税率種別」を追加

「消費税10%・軽減税率対応 運用ガイド」に、運用に関する一連の操作手順をまとめています。

最初に目次を参照して、必要な箇所をご確認ください。

※「消費税10%・軽減税率対応 運用ガイド」は、『操作説明（ヘルプ）』の「機能追加／改正情報」から参照できます。」

## 定型資金管理

- 仕訳伝票が作成済みの借入金（貸付金）でも、返済回数と毎回の元金返済金額（回収回数と毎回の元金回収金額）を変更できるようになりました。

### 《 関連メニュー 》

- ・ [資金管理]-[定型資金管理]-[借入金登録]メニュー
- ・ [資金管理]-[定型資金管理]-[貸付金登録]メニュー

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

### 資金管理オプション

< Ver.2.65 / Ver.2.62 / Ver.2.60 >

## 目次

---

|   |   |
|---|---|
| <b>【随時処理】</b>   |   |
| [売上仕入データ受入]メニューで、取引先の回収条件が分割回収（支払条件が分割支払）の場合に、伝票金額がマイナスの場合でも予定仕訳を分割できるようになりました。 | 2 |



- [売上仕入データ受入]メニューで、取引先の回収条件が分割回収（支払条件が分割支払）の場合に、伝票金額がマイナスの場合でも予定仕訳を分割できるようになりました。

受け入れるデータに回収予定情報（回収予定日、回収方法）（支払予定情報（支払予定日、支払方法））が含まれていない場合に、いままでは、分割回収（分割支払）の取引先でも伝票金額がマイナスの場合は予定仕訳が分割されませんでした。

これからは、伝票金額がマイナスの場合も予定仕訳を分割できるようになりました。

※[売上仕入データ受入 - 受入条件設定]画面の[基本条件]ページの回収予定確定基準で「請求書単位」（支払予定確定基準で「支払明細書単位」）を選択し、「マイナス債権を分割対象にする」（「マイナス債務を分割対象にする」）にチェックを付けます。

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.58 / Ver.2.56 >

## 変更内容一覧

### 【法改正情報】

平成28年1月施行法人に係る利子割（地方税）廃止に対応しました。

法人に係る利子割（地方税）の廃止に伴い、当システムでは平成28年1月1日以降の定期預金・積立定期預金の受取利息に対する課税税率を変更して対応します。

新しくデータ領域を作成した場合に、[導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニューの[運用設定]ページの「利子課税税率（所得税）」、「利子課税税率（住民税）」の初期値が以下のように変更されます。

|             |         |
|-------------|---------|
| 利子課税税率（所得税） | 15.315% |
| 利子課税税率（住民税） | 0.000%  |

### 【関連メニュー】

- ・ [導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニュー
- ・ [資金管理]-[定型資金管理]-[定期預金登録]メニュー
- ・ [資金管理]-[定型資金管理]-[積立定期預金登録]メニュー

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.53/Ver.2.52 >

## 変更内容一覧

|  |
|--|
| <b>【随時処理】 - 【汎用データ作成】</b>  |
| <b>《借入金データ作成》</b>  |
| 作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合や、Excelファイルで出力した場合に、総返済回数が出力できるようになりました。<br>総返済回数では、借入金データ 1 件ごとの返済回数の合計を出力できます。  |
| <b>《貸付金データ作成》</b>  |
| 作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合や、Excelファイルで出力した場合に、総回収回数が出力できるようになりました。<br>総回収回数では、貸付金データ 1 件ごとの回収回数の合計を出力できます。  |
| <b>《定型支払データ作成》</b>   |
| 作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合や、Excelファイルで出力した場合に、総支払回数が出力できるようになりました。<br>総支払回数では、定型支払データ 1 件ごとの支払回数の合計を出力できます。 |
| <b>《定型回収データ作成》</b>   |
| 作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合や、Excelファイルで出力した場合に、総回収回数が出力できるようになりました。<br>総回収回数では、定型回収データ 1 件ごとの回収回数の合計を出力できます。 |

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.50 >

## 変更内容一覧

|  |
|--|
| <b>【法改正情報】</b>   |
| 平成27年10月施行消費税改正（国境を越えた役務の提供にかかる消費税）に対応しました。  |
| 平成28年施行「山の日（国民の祝日）」に対応しました。  |
| <b>【全般】</b>  |
| メニューの名称および構成が変更されました。  |
| 帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。  |
| 他のメニューが実行中でも、以下のメニューを開いて、設定内容を参照できるようになりました。<br>※ただし、設定内容を登録する際は、他のメニューを閉じる必要があります。  |
| <b>【関連メニュー】</b><br>○[導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニュー<br>○[導入処理]-[会計期間設定]-[資金機能設定]メニュー  |
| <b>【資金管理】 - 【年次予算管理】</b>   |
| <b>《年次予算登録》</b><br><b>※新メニュー名：[予算額登録]メニュー</b>  |
| 予算額を登録する会計期間は、パターン選択後に[条件設定]画面の[基本条件]ページで選択するようになりました。   |
| 入力画面の形式（縦軸・横軸）を設定できるようになりました。<br>横軸、縦軸として、以下を指定できます。<br>横軸：月別／部門別／プロジェクト別／サブプロジェクト別<br>縦軸：部門別／取引先別／プロジェクト別／サブプロジェクト別<br>※縦軸は、横軸が月別の場合にだけ指定できます。<br>※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。 |
| 予算総額を入力できるようになりました。<br>また、配賦機能が追加され、年間の予算総額を各月に配賦したり、全社の予算総額を各部門に配賦したりすることができるようになりました。<br>※配賦機能の詳細は、新[予算額登録]メニューの「運用方法」と「運用例」をご参照ください。  |
| 前年実績や会計予算を元に予算額を登録する際に、予算額の入力欄とは別に、参照元の金額を表示できるようになりました。<br>また、[参照複写]（[F6]キー）で、参照元の金額を予算額に複写しなおすことができるようになりました。  |
| 予算額を登録する月／勘定科目／取引先／セグメント1／セグメント2／プロジェクト／サブプロジェクトを指定できるようになりました。<br>※月は、横軸が月別以外の場合に指定できます。<br>※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。<br>※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。  |
| 条件設定の保持単位が「予算コード+会計期間ごと」→「予算コードごと」に変更されました。  |

|   |
|---|
| <p>た。</p> <p>これにより、メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間選択]メニューで一番新しい会計期間を選択して予算額を登録するようになりました。</p>   |
| <p>[回収・支払条件設定]画面（[回収・支払]（[F9]キー））に、その他回収、経費・その他支払の一括設定機能が追加されました。</p>   |
| <p>予算額が登録されているマスター（部門／取引先／セグメント1／セグメント2／プロジェクト／サブプロジェクト）は、削除できなくなりました。</p> <p>※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> <p>※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p>  |
| <p>操作ログの「備考」の表示形式が変更されました。</p> <p>変更前</p> <p>【予算コード】00, 【予算名】当初予算, 【登録済予算会計期間】2015/04/01 ~ 2016/03/31</p> <p>変更後</p> <p>【予算】00:当初予算, 【予算入力期間】2015年 4月 1日 ~ 2016年 3月31日</p>  |
| <p><b>[印刷の変更]</b></p>   |
| <p>予算総額を出力するかを選択できるようになりました。</p>  |
| <p>用紙サイズの初期値が「A3」→「B4」に変更されました。</p>   |
| <p><b>[転送・受入の廃止]</b></p>  |
| <p>画面上での入力機能や配賦機能などの追加に伴い、転送・受入機能は廃止されました。</p>  |
| <p><b>《科目別予算管理設定》</b></p>   |
| <p>[年次予算登録]メニュー（新：[資金管理]-[年次予算管理]-[予算額登録]メニュー）での配賦機能の追加に伴い、科目ごとの配賦基準を設定できるようになりました。</p>   |
| <p>予算管理が「する」の勘定科目は、削除できなくなりました。</p> <p>また、補助科目管理が「する」の勘定科目に属する補助科目は、削除できなくなりました。</p>  |
| <p><b>【資金管理】 - 【定型資金管理】</b></p>   |
| <p><b>《定型支払登録、定型回収登録》</b></p>   |
| <p>登録済みの定型支払（定型回収）の税区分を、支払期間（回収期間）の途中で変更できるようになりました。</p> <p>【関連メニュー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○[資金管理]-[定型資金管理]-[定型支払登録]メニュー</li> <li>○[資金管理]-[定型資金管理]-[定型回収登録]メニュー</li> <li>○[随時処理]-[汎用データ作成]-[資金管理データ作成]-[定型支払データ作成]メニュー</li> <li>○[随時処理]-[汎用データ作成]-[資金管理データ作成]-[定型回収データ作成]メニュー</li> <li>○[随時処理]-[汎用データ受入]-[資金管理データ受入]-[定型支払データ受入]メニュー</li> <li>○[随時処理]-[汎用データ受入]-[資金管理データ受入]-[定型回収データ受入]メニュー</li> </ul> |
| <p><b>【資金管理】 - 【債権債務データ連携】</b></p>  |
| <p><b>《債権債務データ連携》</b></p>   |
| <p>手形情報を連携する際に、更新する予定仕訳の範囲を指定できるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[債権債務データ連携 - 条件設定]画面の[詳細条件]ページ 「手形情報の更新範囲」</p>   |



手形情報を連携する際に、「予定仕訳の金額」>「手形情報の金額」の場合にも、既存の予定仕訳が消込されるようになりました。

**【資金管理】 - 【管理帳票】**

**《借入金明細表、借入金返済予定明細表、借入金返済予定集計表》**

**※新メニュー名：[借入金明細表]メニュー**

メニューが統合されました。

当バージョンをセットアップすると、いままでのメニュー、集計内容ごとにパターンが登録されていますので、該当のパターンを選択するといままでの形式で出力できます。

| いままでの帳票    |        | 当バージョンのパターン名       |
|------------|--------|--------------------|
| メニュー       | 集計内容   |                    |
| 借入金明細表     | 会社銀行別  | 借入金明細表[会社銀行別]      |
|            | 借入金区分別 | 借入金明細表[借入金区分別]     |
| 借入金返済予定明細表 | —      | 借入金返済予定明細表[借入金区分別] |
| 借入金返済予定集計表 | 会社銀行別  | 借入金返済予定集計表[会社銀行別]  |
|            | 借入金区分別 | 借入金返済予定集計表[借入金区分別] |

Office連携サービスに対応し、PDFファイルに出力したり、罫線や色を付けてExcelファイルに出力できるようになりました。

＜「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合＞

集計条件のパターン登録機能が追加されました。

※この機能追加に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからはパターンごとに前回条件を保持するようになりました。  
このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件が初期化されます。

以下の集計単位が追加されました。

借入金別／会社銀行別／借入金区分別（長期／短期）／返済日付別／返済月別／部門別／セグメント1別／セグメント2別／プロジェクト別／サブプロジェクト別

※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。

※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。

※返済日付別は、集計単位に借入金別を指定している場合に使用できるマスターです。

集計結果を画面表示できるようになりました。

集計期間を日付単位で指定できるようになりました。

また、指定できる集計期間が拡張されました。

選択している会計期間の前期～選択している会計期間の5年後の会計期間を集計できるようになりました。

シミュレーションデータ（追加シミュレーション／変更シミュレーション）を集計できるようになりました。

集計範囲の絞込条件に以下の項目が追加されました。

借入金名／借入日付／備考／返済日

複数の部門をまとめて集計できるようになりました。

また、借入金科目側、資金科目側（会社銀行側）の部門／セグメント1／セグメント2／プロジェクト／サブプロジェクトを同時に指定できるようになりました。

|  |
|--|
| <p>※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> <p>※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p>  |
| [出力順]ページが追加され、出力順（昇順／降順）を設定できるようになりました。  |
| [項目選択]ページが追加され、出力する項目を設定できるようになりました。   |
| 印刷、転送レイアウトが変更されました。  |
| <p><b>《借入金月別推移表》</b></p> <p><b>※新メニュー名：[借入金推移表]メニュー</b></p>  |
| <p>Office連携サービスに対応し、PDFファイルに出力したり、罫線や色を付けてExcelファイルに出力できるようになりました。</p> <p style="text-align: right;">&lt;「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合&gt;</p>  |
| <p>集計条件のパターン登録機能が追加されました。</p> <p>※この機能追加に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからはパターンごとに前回条件を保持するようになりました。</p> <p>このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件が初期化されます。</p>   |
| <p>以下の集計単位が追加されました。</p> <p>借入金別／会社銀行別／借入金区分別（長期／短期）／部門別／セグメント1別／セグメント2別／プロジェクト別／サブプロジェクト別</p> <p>※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> <p>※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p>                    |
| 集計結果を画面表示できるようになりました。  |
| <p>集計期間を日付単位で指定できるようになりました。</p> <p>また、指定できる集計期間が拡張されました。</p> <p>選択している会計期間の前期～選択している会計期間の5年後の会計期間を集計できるようになりました。</p>   |
| シミュレーションデータ（追加シミュレーション／変更シミュレーション）を集計できるようになりました。  |
| 繰越残高、期間合計を出力するかを選択できるようになりました。   |
| <p>複数の部門をまとめて集計できるようになりました。</p> <p>また、借入金科目側、資金科目側（会社銀行側）の部門／セグメント1／セグメント2／プロジェクト／サブプロジェクトを同時に指定できるようになりました。</p> <p>※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> <p>※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> |
| [出力順]ページが追加され、出力順（昇順／降順）を設定できるようになりました。  |
| 印刷、転送レイアウトが変更されました。  |
| <p><b>《支払利息経過勘定明細表、支払利息経過勘定合計表》</b></p> <p><b>※新メニュー名：[支払利息経過勘定明細表]メニュー</b></p>  |
| <p>メニューが統合されました。</p> <p>当バージョンをセットアップすると、いままでのメニューごとにパターンが登録されていま</p>  |

すので、該当のパターンを選択するといままでの形式で出力できます。

| いままでのメニュー<br>—  | 当バージョンのパターン名        |
|-----------------|---------------------|
| 支払利息経過勘定<br>明細表 | 支払利息経過勘定明細表[借入金区分別] |
| 支払利息経過勘定<br>合計表 | 支払利息経過勘定合計[借入金区分別]  |

Office連携サービスに対応し、PDFファイルに出力したり、罫線や色を付けてExcelファイルに出力できるようになりました。

＜「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合＞

以下の集計単位が追加されました。

借入金別/会社銀行別/借入金区分別（長期/短期）/部門別/セグメント1別/セグメント2別/プロジェクト別/サブプロジェクト別

※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。

※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。

集計結果を画面表示できるようになりました。

[基本条件]ページで、「月指定」→「基準日」に変更されました。

シミュレーションデータ（追加シミュレーション/変更シミュレーション）を集計できるようになりました。

集計範囲の絞込条件に以下の項目が追加されました。

借入金名/借入日付/備考/返済日

複数の部門をまとめて集計できるようになりました。

また、借入金科目側、資金科目側（会社銀行側）の部門/セグメント1/セグメント2/プロジェクト/サブプロジェクトを同時に指定できるようになりました。

※セグメント1・セグメント2は、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。

※プロジェクト・サブプロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。

[出力順]ページが追加され、出力順（昇順/降順）を設定できるようになりました。

[項目選択]ページが追加され、出力する項目を設定できるようになりました。

印刷、転送レイアウトが変更されました。

＜貸付金明細表、貸付金回収予定明細表、貸付金回収予定集計表＞

※新メニュー名：[貸付金明細表]メニュー

借入金の管理帳票と同様の機能を追加しています。

＜貸付金月別推移表＞

※新メニュー名：[貸付金推移表]メニュー

借入金の管理帳票と同様の機能を追加しています。

＜受取利息経過勘定明細表、受取利息経過勘定合計表＞

※新メニュー名：[受取利息経過勘定明細表]メニュー

借入金の管理帳票と同様の機能を追加しています。

＜預金口座別残高推移表＞

※新メニュー名：[預金口座内訳表]メニュー、[預金口座推移表]メニュー

|  |
|--|
| <p>出力形式ごとにメニューが分かれました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新[預金口座内訳表]メニュー：いままでの画面表示、「日付縦形式」での印刷、転送と同様の形式で出力します。</li> <li>・新[預金口座推移表]メニュー：いままでの「会社銀行縦形式」での印刷、転送と同様の形式で出力します。</li> </ul>   |
| <p>Office連携サービスに対応し、PDFファイルに出力したり、罫線や色を付けてExcelファイルに出力できるようになりました。</p> <p style="text-align: center;">&lt;「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合&gt;</p>   |
| <p><b>[集計条件の変更]</b></p>  |
| <p>集計条件のパターン登録機能が追加されました。</p> <p>※この機能追加に伴い、いままでは利用者ごとに前回条件を保持していましたが、これからはパターンごとに前回条件を保持するようになりました。</p> <p>このため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計条件が初期化されます。</p>                               |
| <p>四半期／半期／年次単位で集計できるようになりました。</p> <p>また、会計期間が月中締め（月の開始日が1日以外）の場合に、1日～月末の単位で月単位／半月単位／旬間単位の集計ができるようになりました。</p>   |
| <p>指定できる集計期間が拡張され、選択している会計期間の前期～選択している会計期間の5年後の会計期間を集計できるようになりました。</p>   |
| <p>複数の部門をまとめて集計できるようになりました。</p> <p>※[条件設定]画面の[詳細条件]ページで、「範囲内の部門を個別に表示する」にチェックを付けると、いままでどおり、部門ごとの金額を集計できます。</p>   |
| <p>定型資金の予定仕訳も集計できるようになりました。</p>  |
| <p>伝票区分・伝票区分グループを指定して集計できるようになりました。</p>  |
| <p>メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで、整理仕訳の管理方法が「1：日常仕訳と区別する」の場合に、振戻仕訳・整理仕訳を含めるかどうかを指定して集計できるようになりました。</p>  |
| <p>集計結果の金額が0円の明細を表示するかを選択できるようになりました。</p>  |
| <p><b>[画面表示の変更]</b></p>  |
| <p>集計金額と、配置が変更されました。</p> <p>変更前</p> <p>「借方／貸方／残高」または「残高」が集計されていました。また、会社銀行ごとの集計結果が、横並びで表示されされていました。</p> <p>変更後</p> <p>「繰越残高／借方／貸方／残高」（4列固定）が集計されるようになりました。また、会社銀行ごとの集計結果が、縦並びで表示されるようになりました。</p> |
| <p>日付の表示形式が変更されました。</p> <p>変更前</p> <p>YY/MM/DD</p> <p>変更後</p> <p>元号 YY年MM月DD日</p>  |
| <p>端数処理は、[条件設定]画面の[詳細条件]ページで設定するようになりました。</p>  |
| <p><b>[印刷・転送の変更（出力形式：「日付縦形式」の場合）]</b></p>  |
| <p>集計金額と、配置が変更されました。</p>   |

|   |
|---|
| <p>変更前</p> <p>「借方／貸方／残高」または「残高」が集計されていました。また、会社銀行ごとの集計結果が、横並びで表示されていました。</p> <p>変更後</p> <p>「繰越残高／借方／貸方／残高」（4列固定）が集計されるようになりました。また、会社銀行ごとの集計結果が、縦並びで表示されるようになりました。</p>   |
| <p>集計単位が以下の場合に、日付範囲の表示が「2行」→「1行」に変更されました。<br/>半月単位／旬間単位／週単位／日単位（2日間ごと以上の場合）</p>   |
| <p>印刷で、以下のオプションが指定できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 網掛け印刷する</li> <li>・ フォントサイズを指定する</li> <li>・ 間隔を補正する</li> </ul>   |
| <p>転送で、最上段に出力される項目が変更されました。</p> <p>変更前</p> <p>メニュー名、出力形式（残高／発生・残高）、集計期間、会社名、単位設定が出力されていました。</p> <p>変更後</p> <p>パターンコード、パターン名、集計期間、会社名、単位設定が出力されるようになりました。</p>  |
| <p><b>[印刷・転送の変更（出力形式：「会社銀行縦形式」の場合）]</b></p>   |
| <p>口座番号と預金種目の配置が変更されました。</p> <p>変更前</p> <p>会社銀行の明細の下段に表示されていました。</p> <p>変更後</p> <p>それぞれ別の列で表示されるようになりました。</p>   |
| <p>集計単位が以下の場合に、日付範囲の表示が「2行」→「1行」に変更されました。<br/>半月単位／旬間単位</p>   |
| <p>印刷で、以下のオプションが指定できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 網掛け印刷する</li> <li>・ フォントサイズを指定する</li> <li>・ 間隔を補正する</li> </ul>   |
| <p>転送で、以下のとおり変更されました。</p> <p>○最上段に出力される項目が変更されました。</p> <p>変更前</p> <p>メニュー名、出力形式（残高／発生・残高）、集計期間、会社名、単位設定が出力されていました。</p> <p>変更後</p> <p>パターンコード、パターン名、集計期間、会社名、単位設定が出力されるようになりました。</p> <p>○項目名が変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「会社銀行コード」→「コード」</li> <li>・ 「会社銀行名称」→「名称」</li> <li>・ 「預金区分」→「預金種目」</li> </ul> <p>○以下の項目見出しの出力位置が変更されました。</p> |

- ・繰越残高：見出しの上部→見出しの下部
  - ・予実情報：日付の右→日付の下
- 一番下に合計行が出力されるようになりました。  
※この変更に伴い、合計の見出し列として、列が1列追加されています。

**【随時処理】 - 【汎用データ作成】**

**《定型支払データ作成、定型回収データ作成》**

[項目選択]ページで、「税区分」を選択すると「税区分コード」「税区分名」「税区分略称」が出力できるようになりました。

### 《法改正情報》

- 平成27年10月施行消費税改正（国境を越えた役務の提供にかかる消費税）に対応しました。

当システムに影響のある改正は、大きく2つです。

- 国外との商品の売買・サービスの提供のうちインターネット等を介した売買・提供に関して、課税取引なのか不課税取引なのかを判定する基準が変更されました。
- 新しい課税方式「リバースチャージ方式」が導入され、国外事業者が納税する売上げにかかる消費税を、日本企業が申告時に代わりに納税します。

※平成27年10月1日以後の取引から適用

詳細は、『勘定奉行』の「機能追加／改正情報 - Ver. 2.50 変更内容の詳細」をご参照ください。

- 平成28年施行「山の日（国民の祝日）」に対応しました。

[導入処理]-[運用設定]-[休日登録]メニューの休日パターンに、国民の休日として「山の日」が追加されました。

当バージョンをセットアップ後に登録する、2016年以降の休日リストに「山の日」が追加されます。

### 《全般》

- メニューの名称および構成が変更されました。

配賦機能の追加に伴い、[年次予算管理]メニューの名称および構成が、以下のとおり変更されました。

※配賦機能の詳細は、新[予算額登録]メニューの「運用方法」と「運用例」をご参照ください。

| 変更前  | 変更後  |
|--|--|
| [資金管理]-[年次予算管理]-<br>[年次予算登録]メニュー                   | [資金管理]-[年次予算管理]-[予算額登録]メニューに名称が変更されました。  |
| [資金管理]-[年次予算管理]-<br>[年次予算管理設定]<br>-[科目別予算管理設定]メニュー | [資金管理]-[年次予算管理]-[予算管理設定]-<br>-[科目別予算管理設定]メニューに名称が変更されました。  |
| [資金管理]-[年次予算管理]-<br>[年次予算管理設定]<br>-[予算条件科目設定]メニュー  | [資金管理]-[年次予算管理]-[予算管理設定]-<br>-[予算条件科目設定]メニューに名称が変更されました。   |
|  | 以下のメニューが追加されました。<br>○ [資金管理]-[年次予算管理]-[予算管理設定]-<br>[月別配賦基準登録]メニュー<br>○ [資金管理]-[年次予算管理]-[予算管理設定]-<br>[マスター別配賦基準登録]メニュー<br>○ [資金管理]-[年次予算管理]-[予算管理設定]-<br>[実績配賦基準科目登録]メニュー |

[管理帳票]メニューの名称および構成が、以下のとおり変更されました。

| 変更前   | 変更後  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金明細表]メニュー</li> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金返済予定明細表]メニュー</li> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金返済予定集計表]メニュー</li> </ul> | [資金管理]-[管理帳票]-[借入金明細表]メニューに統合されました。  |
| [資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金月別推移表]メニュー  | [資金管理]-[管理帳票]-[借入金推移表]メニューに名称が変更されました。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[支払利息経過勘定明細表]メニュー</li> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[支払利息経過勘定合計表]メニュー</li> </ul>  | [資金管理]-[管理帳票]-[支払利息経過勘定明細表]メニューに統合されました。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金明細表]メニュー</li> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金回収予定明細表]メニュー</li> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金回収予定集計表]メニュー</li> </ul> | [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金明細表]メニューに統合されました。  |
| [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金月別推移表]メニュー  | [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金推移表]メニューに名称が変更されました。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[受取利息経過勘定明細表]メニュー</li> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[受取利息経過勘定合計表]メニュー</li> </ul>  | [資金管理]-[管理帳票]-[受取利息経過勘定明細表]メニューに統合されました。   |
| [資金管理]-[管理帳票]-[預金口座別残高推移表]メニュー  | 以下のメニューに分割されました。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[預金口座内訳表]メニュー</li> <li>○[資金管理]-[管理帳票]-[預金口座推移表]メニュー</li> </ul> |

● 帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタをメインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。



これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更になります。

| 変更前   | 変更後  |
|---|--|
| <p>全項目とも、前回の印刷時に設定した内容</p> <p>※初回起動時は、「通常使うプリンタ」の内容が表示されます。</p> | <p>メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューでプリンタが登録されているかによって、異なります。</p> <p>○登録済みの場合</p> <p>全項目とも、常に帳票別プリンタ登録の内容</p> <p>※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの設定であれば、印刷時の「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」「倍率」の変更は、帳票別プリンタ登録に反映します。</p> <p>○未登録の場合</p> <p>「プリンタ名」「給紙方法」は、常に「通常使うプリンタ」の内容</p> <p>「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」は、前回の印刷時に設定した内容</p> |

#### 注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した内容が初期値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで初期値として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値として表示されます。

#### 《 対象帳票 》

- ・ 予算額リスト（新：[資金管理]-[予算管理]-[予算額登録]メニュー）
- ・ 借入金明細表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[借入金明細表]メニュー）
- ・ 借入金返済予定明細表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[借入金明細表]メニュー）
- ・ 借入金月別推移表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[借入金推移表]メニュー）
- ・ 借入金返済予定集計表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[借入金明細表]メニュー）
- ・ 支払利息経過勘定明細表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[支払利息経過勘定明細表]メニュー）
- ・ 支払利息経過勘定合計表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[支払利息経過勘定明細表]メニュー）
- ・ 貸付金明細表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金明細表]メニュー）
- ・ 貸付金回収予定明細表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金明細表]メニュー）
- ・ 貸付金月別推移表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金推移表]メニュー）
- ・ 貸付金回収予定集計表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[貸付金明細表]メニュー）
- ・ 受取利息経過勘定明細表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[受取利息経過勘定明細表]メニュー）
- ・ 受取利息経過勘定合計表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[受取利息経過勘定明細表]メニュー）

- ・預金口座別残高推移表（新：[資金管理]-[管理帳票]-[預金口座内訳表]メニュー、[資金管理]-[管理帳票]-[預金口座推移表]メニュー）

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.17/Ver.2.16/Ver.2.15 >

## 変更内容一覧

|   |
|---|
| <b>【メニュー体系】</b>   |
| メニューの名称および構成が変更されました。<br>※詳細は、15ページをご参照ください。  |
| <b>【全般】</b>   |
| 帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。<br>※詳細は、15ページをご参照ください。  |
| 各メニューで表示するプロジェクト名称を、メインメニューの[導入処理]-[プロジェクト関連登録]-[プロジェクト登録]-[プロジェクト登録]メニューで設定した「プロジェクト名」「プロジェクト略称」のどちらで表示するかを設定できるようになりました。<br><b>【設定箇所】</b><br>[導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニューの[名称設定]ページ<br>＜『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合＞   |
| 定期預金・積立定期預金の受取利息に対する源泉徴収税額について、国税(所得税分)と地方税(住民税分)に明細を分けて仕訳伝票を作成できるようになりました。<br><b>【設定箇所】</b><br>[導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニューの[運用設定]ページ 「明細分割」<br><b>【関連メニュー】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ [導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニュー</li><li>・ [導入処理]-[会計期間設定]-[資金機能設定]メニュー</li><li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[定期預金登録]メニュー</li><li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[積立定期預金登録]メニュー</li></ul> ※[資金運用設定]メニューの「明細分割」を「1:する」に設定すると、[資金機能設定]メニュー、[定期預金登録]メニュー、[積立定期預金登録]メニューでは、国税(所得税分)と地方税(住民税分)ごとに使用する勘定科目が設定できるようになります。<br>当バージョン以降で作成する仕訳伝票に設定が反映されます。 |
| [資金管理]-[債権債務データ連携]-[債権債務データ連携]メニュー、[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[資金管理]-[売上仕入データ受入]メニューで受け入れたデータの表現が変更されました。<br>「債権情報」→「売上実績」<br>「債務情報」→「仕入実績」<br><b>【関連メニュー】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ [導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニュー</li><li>・ [資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰推移表]メニュー</li><li>・ [資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰明細表]メニュー</li></ul>  |
| <b>【導入処理】</b>   |
| <b>《資金機能設定》</b>   |
| [定型資金管理]ページが追加され、定型資金の仕訳で使用する勘定科目などを設定できるようになりました。<br>※この機能追加に伴い[定型資金基本科目設定]メニューは廃止されました。   |
| [定型資金管理]ページが追加されたことに伴い、印刷レイアウトが変更になりました。  |

|  |
|--|
| <b>【資金管理】 - 【年次予算管理】</b>   |
| <b>《科目別予算管理設定》</b>   |
| <p>メイン画面で、複数の項目を一度に選択して設定できるようになりました。<br/> ※この機能追加により、メイン画面の項目の配置が変更されました。</p>   |
| <p>Windowsファンクション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ [移動] ( [F8] キー) が廃止されました。</li> <li>○ 以下のキーが追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [全選択] ( [F7] キー)</li> <li>・ [修正] ( [F9] キー)</li> </ul> </li> </ul>                           |
| <p>「予算区分」の選択肢の名称が変更されました。<br/> 「その他収入」 → 「その他回収」</p>   |
| <b>《取引先別予算管理設定》</b>  |
| <p>メニューが廃止されました。<br/> 取引先別に予算を管理するかは、以下のメニューで設定できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー</li> <li>・ [導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニュー</li> <li>・ [随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]-[取引先データ受入]-[取引先データ受入]メニュー</li> </ul> |
| <b>《年次予算条件科目設定》</b>  |
| <p>以下の画面の項目の配置が変更されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [経費・その他支払 - 一括設定]画面</li> <li>・ [その他回収 - 一括設定]画面</li> <li>・ [債権科目設定]ページ</li> <li>・ [債務科目設定]ページ</li> </ul>  |
| <p>項目の名称が変更されました。<br/> 「締日区分コード」 → 「締日区分」</p>  |
| <b>【資金管理】 - 【定型資金管理】</b>   |
| <b>《借入金登録》</b>   |
| <b>[メイン画面の変更]</b>  |
| <p>主要な項目がわかりやすいように、項目の配置が変更されました。</p>  |
| <p>利率が途中で変更になった場合の操作方法が変更されました。</p>  |
| <p>返済区分が「0：元金均等」または「3：その他」の借入金で、毎回の元金返済額が途中で変更になった場合に、変更後の支払明細を自動計算できるようになりました。</p>  |
| <p>支払明細の内元金金額を変更した際に、以降の支払明細の調整方法を、「毎回の返済金額は変更せず返済回数を調整する」と「返済回数は変更せず毎回の返済金額を調整する」から選択できるようになりました。</p>   |
| <p>利率が0%の借入金を登録できるようになりました。</p>  |
| <p>作成された予定仕訳、整理仕訳を確認できるようになりました。</p>   |
| <b>[条件設定画面の変更]</b>   |
| <p>検索対象の絞込条件が追加されました。<br/> ※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式に変更され、[詳細条件]ページの設定方法も変更されました。</p>  |
| <p>[出力順]ページが追加され、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。</p>  |

|  |
|--|
| <b>[印刷・転送の変更]</b>  |
| <p>プロジェクトやセグメントなどのフォントサイズが指定できるようになりました。</p> <p>※この変更に伴い、印刷条件画面のプロジェクト、セグメント出力の設定方法が変わりました。</p> <p>※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> <p>※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> |
| <p>メイン画面の項目の配置変更に伴い、印刷レイアウトが変更になりました。</p> <p>※この変更に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した印刷条件が初期化されます。</p>  |
| <p>[仕訳設定1]ページの勘定科目・補助科目が印刷できるようになりました。</p> <p>また、部門を印刷するかを選択できるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[借入金登録 - 印刷条件設定]画面の「詳細設定」ページ</p>   |
| <b>《貸付金登録》</b>   |
| <b>[メイン画面の変更]</b>  |
| <p>主要な項目がわかりやすいように、項目の配置が変更されました。</p>  |
| <p>利率が途中で変更になった場合の操作方法が変更されました。</p>  |
| <p>回収区分が「0：元金均等」または「3：その他」の貸付金で、毎回の元金回収額が途中で変更になった場合に、変更後の回収明細を自動計算できるようになりました。</p>  |
| <p>回収明細の内元金額を変更した際に、以降の回収明細の調整方法を、「毎回の回収金額は変更せず回収回数を調整する」と「回収回数は変更せず毎回の回収金額を調整する」から選択できるようになりました。</p>  |
| <p>利率が0%の貸付金を登録できるようになりました。</p>  |
| <p>作成された予定仕訳、整理仕訳を確認できるようになりました。。</p>  |
| <b>[条件設定画面の変更]</b>   |
| <p>検索対象の絞込条件が追加されました。</p> <p>※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式に変更され、[詳細条件]ページの設定方法も変更されました。</p>  |
| <p>[出力順]ページが追加され、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。</p>  |
| <b>[印刷・転送の変更]</b>  |
| <p>プロジェクトやセグメントなどのフォントサイズが指定できるようになりました。</p> <p>※この変更に伴い、印刷条件画面のプロジェクト、セグメント出力の設定方法が変わりました。</p> <p>※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> <p>※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。</p> |
| <p>メイン画面の項目の配置変更に伴い、印刷レイアウトが変更になりました。</p> <p>※この変更に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した印刷条件が初期化されます。</p>  |
| <p>[仕訳設定1]ページの勘定科目・補助科目が印刷できるようになりました。</p> <p>また、部門を印刷するかを選択できるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[貸付金登録 - 印刷条件設定]の「詳細設定」ページ</p>   |

|   |
|---|
| <b>《定期預金登録》</b>   |
| <b>[メイン画面の変更]</b>   |
| 主要な項目がわかりやすいように、項目の配置が変更されました。  |
| 利率が0%の定期預金を登録できるようになりました。   |
| 作成された予定仕訳、整理仕訳を確認できるようになりました。   |
| 満期時の元金や受取利息の入金について、休日を考慮して仕訳伝票を作成できるようになりました。   |
| 【設定箇所】<br>[定期預金登録]画面の[基本]ページ 休日入金指定   |
| <b>[条件設定画面の変更]</b>  |
| 検索対象の絞込条件が追加されました。<br>※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式に変更され、[詳細条件]ページの設定方法も変更されました。  |
| [出力順]ページが追加され、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。  |
| <b>[印刷・転送の変更]</b>   |
| プロジェクトやセグメントなどのフォントサイズが指定できるようになりました。<br>※この変更に伴い、印刷条件画面のプロジェクト、セグメント出力の設定方法が変わりました。<br>※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。<br>※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。 |
| メイン画面の項目の配置変更に伴い、印刷レイアウトが変更になりました。<br>※この変更に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した印刷条件が初期化されます。  |
| [仕訳設定1]ページの勘定科目・補助科目が印刷できるようになりました。<br>また、部門を印刷するかを選択できるようになりました。   |
| 【設定箇所】<br>[定期預金登録 - 印刷条件設定]の「詳細設定」ページ   |
| <b>《積立定期預金登録》</b>   |
| <b>[メイン画面の変更]</b>   |
| 主要な項目がわかりやすいように、項目の配置が変更されました。  |
| 利率が0%の定期預金を登録できるようになりました。   |
| 作成された予定仕訳を確認できるようになりました。  |
| <b>[条件設定画面の変更]</b>  |
| 検索対象の絞込条件が追加されました。<br>※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式に変更され、[詳細条件]ページの設定方法も変更されました。  |
| [出力順]ページが追加され、検索結果の並び順を詳細に設定できるようになりました。  |
| <b>[印刷・転送の変更]</b>   |
| プロジェクトやセグメントなどのフォントサイズが指定できるようになりました。<br>※この変更に伴い、印刷条件画面のプロジェクト、セグメント出力の設定方法が変わりました。<br>※セグメントは、『伝票項目拡張オプション』をお使いの場合に使用できるマスターです。<br>※プロジェクトは、『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合に使用できるマスターです。 |

|  |
|--|
| す。   |
| <p>メイン画面の項目の配置変更に伴い、印刷レイアウトが変更になりました。</p> <p>※この変更に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した印刷条件が初期化されます。</p>  |
| <p>[仕訳設定1]ページの勘定科目・補助科目が印刷できるようになりました。</p> <p>また、部門を印刷するかを選択できるようになりました。</p> <p>【設定箇所】</p> <p>[積立定期預金登録 - 印刷条件設定]の「詳細設定」ページ</p>  |
| <p><b>《仕訳伝票作成》</b></p>   |
| <p><b>[処理フローの変更]</b></p>   |
| <p>整理仕訳伝票の作成ができるようになりました。</p> <p>また、作成した仕訳伝票、整理仕訳伝票の履歴の参照、取消ができるようになりました。</p> <p>※いままでは、[仕訳伝票作成履歴]メニューで、作成済みの仕訳伝票を修正できましたが、これからは、当メニューで取消をしてから再作成して修正するようになりました。</p>   |
| <p><b>[メイン画面の変更]</b></p>   |
| <p>1明細ごとの表示行数が2行から1行になりました。</p>  |
| <p>項目の名称が変更されました。</p> <p>「作成区分」→「仕訳種類」</p>   |
| <p><b>[条件設定画面の変更]</b></p>  |
| <p>検索対象の絞込条件が追加されました。</p> <p>※この機能追加に伴い、[基本条件]ページの絞込条件項目はリストから選択する形式に変更され、[詳細条件]ページの設定方法も変更されました。</p>  |
| <p>定型資金コード順に出力できるようになりました。</p> <p>※この変更に伴い、[表示条件]ページは、名称が[出力順]ページに変更され、設定方法も変更されました。</p>   |
| <p>画面に出力する項目、項目の並び順を設定できるようになりました。</p> <p>また、以下の項目を出力できるようになりました。</p> <p>「会社銀行コード」、「会社銀行名」</p> <p>※この機能追加に伴い、[項目選択]ページが追加されました。</p>  |
| <p><b>[印刷・転送の変更]</b></p>   |
| <p>[基本設定]ページに、以下の設定が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「税率・税区分を印刷する」<br/>(「税率だけ印刷」、「税区分だけ印刷」、「税率・税区分を印刷」を指定できます。)</li> <li>・「履歴を印刷する」</li> <li>・「日付と利用者の他に時間も印刷する」</li> <li>・「合計を印刷する」</li> <li>・「1伝票の印刷がページ内に収まらない場合は改ページする」</li> </ul> |
| <p>転送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の列が追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「区切」列</li> <li>・「行」列</li> <li>・税区分、事業区分の各コードの列</li> </ul> </li> <li>・部門名や勘定科目などの貸借項目の名称が、貸借に応じて「借方」・「貸方」を付与した名称になりました。</li> </ul>                  |



▼例

勘定科目コード → 借方勘定科目コード/貸方勘定科目コード

・「伝票日付」、「履歴情報」が行ごとに出力されるようになりました。

＜整理仕訳伝票作成＞

整理仕訳の作成が[資金管理]-[定型資金管理]-[仕訳伝票作成]メニューでできるようになったため、メニューが廃止されました。

＜仕訳伝票作成履歴＞

仕訳伝票履歴の参照や仕訳伝票の取消が[資金管理]-[定型資金管理]-[仕訳伝票作成]メニューでできるようになったため、メニューが廃止されました。

＜定型資金基本科目設定＞

定型資金の仕訳で使用する勘定科目などは、[資金機能設定]メニューの[定型資金管理]ページで設定できるようになったため、メニューが廃止されました。

【資金管理】 - 【債権債務データ連携】

＜債権債務データ連携＞

債権債務データ連携は、メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間選択]メニューで一番新しい会計期間を選択して実行するようになりました。

※一番新しい会計期間を選択していても、過去の会計期間のデータを連携できます。

【資金管理】 - 【資金繰シミュレーション】

＜資金繰推移表＞

Office連携サービスに対応し、PDFファイルに出力したり、罫線や色を付けてExcelファイルに出力できるようになりました。

＜「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合＞

【条件設定画面の変更】

条件設定は、いままでは集計パターンごとに、会計期間別に保持されていましたが、会計期間別には保持されなくなりました。

※そのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計パターンは、最新の会計期間の集計パターンだけが移行されます。

[基本条件]ページの変更

○指定できる集計期間が拡張されました。

選択している会計期間の前期～選択している会計期間の5年後の会計期間を集計できるようになりました。

○集計対象の年次予算、定型資金のシミュレーションデータは、いままでは別画面で指定していましたが、[基本条件]ページで指定できるようになりました。

○データ切替月の指定方法が変更されました。

○[基本条件]ページにあった、差引過不足の出力設定が[表示設定]ページに移動しました。

[詳細条件]ページの変更

○収支区分管理（[資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰項目設定]-[資金繰項目登録]メニューの[資金繰区分]ページで設定）が「発生/残高」の資金繰項目に対して、部門を指定できるようになりました。

○伝票区分を指定した場合に、予定仕訳にも反映するようになりました。

○指定した部門（部門グループ）コード、伝票区分（伝票区分グループ）コードは、前回条件として保持されなくなりました。

○整理仕訳の管理方法（メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）が「1：日常仕訳と区別する」の場合に、整理仕訳の集計

|   |
|---|
| 条件を指定できるようになりました。   |
| <p>期間合計を表示するかを設定できるようになりました。</p> <p>【設定箇所】<br/>[資金繰推移表 - 条件設定]画面の[表示設定]ページ</p>  |
| <b>[メイン画面の変更]</b>   |
| <p>部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。</p> <p>変更前<br/>指定された条件ごとに、1行ずつ表示</p> <p>変更後<br/>すべての条件をまとめて、1行で表示</p>   |
| <b>[印刷の変更]</b>  |
| <p>帳票タイトルとして、パターン名が出力されるようになりました。</p> <p>部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。</p> <p>変更前<br/>指定された条件ごとに、1行ずつ表示</p> <p>変更後<br/>すべての条件をまとめて、1行で表示</p>   |
| <p>資金繰区分の見出し、資金繰項目名のインデントがなくなりました。</p> <p>フォントサイズを指定できるようになりました。<br/>※変更前と同様のフォントサイズにする場合は、8ptを指定してください。</p> <p>行間補正値を指定できるようになりました。<br/>※変更前と同様の行間で出力する場合は、「行間補正」に補正値-0.55mmを指定してください。</p>                 |
| <p>網掛け印刷ができるようになりました。</p>   |
| <b>[転送の変更]</b>  |
| <p>部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。</p> <p>変更前<br/>指定された条件ごとに、1行ずつ表示</p> <p>変更後<br/>すべての条件をまとめて、1行で表示</p>   |
| <p>資金繰区分・収支・資金繰項目名は、それぞれ別の列として出力されるようになりました。</p> <p>集計期間+実績/予定の行が、画面表示と同様の行数で出力されるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週次：2行→3行に変更</li> <li>・四半期：2行→3行に変更</li> <li>・半期：2行→3行に変更</li> </ul> |
| <p>出力先ファイル名は、いままでは利用者別に保持されていましたが、集計パターンごとに保持されるようになりました。</p> <p>※そのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した出力先ファイル名は移行されません。</p>  |
| <b>《資金繰明細表》</b>   |
| Office連携サービスに対応し、PDFファイルに出力したり、罫線や色を付けてExcelファイ   |

ルに出力できるようになりました。

< 「OMSS」 / 『奉行V ERP8』 をお使いの場合 >

#### [条件設定画面の変更]

条件設定は、いままでは[資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰推移表]メニューと共通でしたが、メニューごとに別々に保持されるようになりました。

また、いままでは集計パターンごとに、会計期間別に保持されていましたが、会計期間別には保持されなくなりました。

※そのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した集計パターンは、最新の会計期間の集計パターンだけが移行されます。

#### [基本条件]ページの変更

○指定できる集計期間が拡張されました。

選択している会計期間の前期～選択している会計期間の5年後の会計期間を集計できるようになりました。

○集計期間は、手入力するようになりました。

[詳細条件]ページが追加されました。

○部門・部門グループや伝票区分などの条件を設定できるようになりました。

○整理仕訳の管理方法（メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）が「1：日常仕訳と区別する」の場合に、整理仕訳の集計条件を指定できるようになりました。

マスターやマスターのコードを表示するかを設定できるようになりました。

#### 【設定箇所】

[資金繰明細表 - 条件設定]画面の[表示設定]ページ

#### [メイン画面の変更]

部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。

変更前

指定された条件ごとに、1行ずつ表示

変更後

すべての条件をまとめて、1行で表示

画面右上のアイコンをクリックし、明細の高さを「標準」「小」「最小」の中から選択できるようになりました。

整理仕訳の管理方法（メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）が「1：日常仕訳と区別する」の場合に、振戻・整理の情報が表示されるようになりました。

#### [印刷の変更]

帳票タイトルとして、パターン名が出力されるようになりました。

部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。

変更前

指定された条件ごとに、1行ずつ表示

変更後

すべての条件をまとめて、1行で表示

A 4縦で印刷できるようになりました。

※変更前と同様に出力する場合は、[基本設定]ページで「横向きのレイアウトで出力する」にチェックを付けてください。

|   |
|---|
| <p>行間補正値を指定できるようになりました。</p> <p>※変更前と同様の行間で出力する場合は、「行間補正」に補正値-0.38mmを指定してください。</p>   |
| <p>[詳細設定] ページが追加され、項目別にフォントサイズを指定できるようになりました。</p>   |
| <p><b>[転送の変更]</b></p>   |
| <p>部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。</p> <p>変更前<br/>指定された条件ごとに、1行ずつ表示</p> <p>変更後<br/>すべての条件をまとめて、1行で表示</p>                 |
| <p>整理仕訳の管理方法（メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定] ページで設定）が「1：日常仕訳と区別する」の場合に、整理区分の列が出力されるようになりました。</p>                              |
| <p>出力先ファイル名は、いままでは利用者別に保持されていましたが、集計パターンごとに保持されるようになりました。</p> <p>※そのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した出力先ファイル名は移行されません。</p>              |
| <p>マスター項目の列の出力順が変更されました。</p> <p>変更前<br/>勘定科目→補助科目→資金勘定科目→資金補助科目→部門→資金部門</p> <p>変更後<br/>勘定科目→補助科目→部門→資金勘定科目→資金補助科目→資金部門</p>                |
| <p>明細日付の出力形式が変更されました。</p> <p>西暦：「平成27年4月1日」→「平成27年04月01日」</p> <p>和暦：「2015年4月1日」→「2015/04/01」</p>  |
| <p>名称項目の見出しが変更されました。</p> <p>変更前<br/>○○名称</p> <p>変更後<br/>○○名</p>   |
| <p><b>《予算実績対比表》</b></p> <p><b>※新メニュー名：[資金繰対比表]メニュー</b></p>  |
| <p>Office連携サービスに対応し、PDFファイルに出力したり、罫線や色を付けてExcelファイルに出力できるようになりました。</p> <p style="text-align: right;">&lt;「OMSS」/『奉行V ERP8』をお使いの場合&gt;</p> |
| <p><b>[条件設定画面の変更]</b></p>   |
| <p>条件設定は、いままでは利用者ごとに保持されていましたが、パターンごとに保持されるようになりました。</p> <p>※そのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した条件設定は移行されません。</p>                       |
| <p>[基本条件] ページの変更</p> <p>○指定できる集計期間が拡張されました。</p> <p>選択している会計期間の前期～選択している会計期間の5年後の会計期間を集計できるようになりました。</p>                                   |

|  |
|--|
| <p>○四半期・半期・年次で集計できるようになりました。</p> <p>○定型資金・債権情報（新：売上実績）・債務情報（新：仕入実績）の予定仕訳も集計できるようになりました。</p> <p>○[基本条件]ページにあった、合計の出力設定が[表示設定]ページの期間合計に移動しました。</p>   |
| <p><b>[詳細条件]ページの変更</b></p> <p>○収支区分管理が「発生/残高」の資金繰項目に対して、部門を指定できるようになりました。</p> <p>○伝票区分を指定した場合に、予定仕訳にも反映するようになりました。</p> <p>○整理仕訳の管理方法（メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間設定]メニューの[伝票設定]ページで設定）が「1：日常仕訳と区別する」の場合に、整理仕訳の集計条件を指定できるようになりました。</p> |
| <p>差引過不足、達成率を表示するかを設定できるようになりました。</p> <p><b>【設定箇所】</b></p> <p>[資金繰対比表 - 条件設定]画面の[表示設定]ページ</p>  |
| <p>達成率は、0.0%やマイナスの場合にも表示されるようになりました。</p>   |
| <p><b>[メイン画面の変更]</b></p>   |
| <p>部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。</p> <p>変更前<br/>指定された条件ごとに、1行ずつ表示</p> <p>変更後<br/>すべての条件をまとめて、1行で表示</p>  |
| <p><b>[印刷の変更]</b></p>  |
| <p>帳票タイトルとして、パターン名が出力されるようになりました。</p>  |
| <p>部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。</p> <p>変更前<br/>指定された条件ごとに、1行ずつ表示</p> <p>変更後<br/>すべての条件をまとめて、1行で表示</p>  |
| <p>資金繰区分の見出し、資金繰項目名のインデントがなくなりました。</p>   |
| <p>達成率を印字できるようになりました。</p>  |
| <p>フォントサイズを指定できるようになりました。</p> <p>※変更前と同様のフォントサイズにする場合は、8ptを指定してください。</p>   |
| <p>行間補正値を指定できるようになりました。</p> <p>※変更前と同様の行間で出力する場合は、「行間補正」に補正値-0.55mmを指定してください。同様の金額幅で出力する場合は、「金額幅補正」に補正値+2.30mmを指定してください。</p>   |
| <p>網掛け印刷ができるようになりました。</p>  |
| <p><b>[転送の変更]</b></p>  |
| <p>部門や伝票区分を範囲指定した場合に集計結果上部に表示される、集計範囲の表示方法が変更されました。</p> <p>変更前<br/>指定された条件ごとに、1行ずつ表示</p>   |

変更後

すべての条件をまとめて、1行で表示

資金繰区分・収支・資金繰項目名は、それぞれ別の列として出力されるようになりました。

達成率を出力できるようになりました。

出力先ファイル名は、いままでは利用者別に保持されていましたが、集計パターンごとに保持されるようになりました。

※そのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した出力先ファイル名は移行されません。

**【随時処理】 - 【商蔵奉行連動】**

**《売上仕入データ受入》**

売上仕入データ受入は、メインメニューの[導入処理]-[会計期間設定]-[会計期間選択]メニューで一番新しい会計期間を選択して実行するようになりました。

※一番新しい会計期間を選択していても、過去の会計期間のデータを受け入れられます。

税区分は、売上仕入データ上の課税区分、取引状態区分、個別対応（仕入データのみ）の値から判断して受け入れられるようになりました。

変更前

必ず、勘定科目または補助科目の初期値で受け入れ

変更後

売上仕入データで課税区分、取引状態区分、個別対応（仕入データのみ）が設定されている場合は、それらの値から判断して受け入れ

未成工事支出金の仕入税額控除時期の特例（消費税法基本通達11-3-5）を適用する場合に、「未成工事支出金」科目の仕入データを受け入れると、自動的に専用の税区分で受け入れられるようになりました。

<『勘定奉行[個別原価管理編]』をお使いの場合>

**【随時処理】 - 【汎用データ作成】**

**《借入金データ作成》**

処理区分が「追加シミュレーション」・「変更シミュレーション」のデータも出力できるようになりました。

出力できる項目が追加されました。

また、一部の項目の名称が変更されました。

※詳細は、17ページの「汎用データ作成形式 変更履歴」をご参照ください。

作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合や、Excelファイルで出力した場合に、いままではコード列だけが出力されていた項目が、項目名の列も一緒に出力されるようになりました。

▼例

利息支払の登録内容を出力する場合

| 変更前                 | 変更後   |
|---------------------|---|
| 『利息支払』として、「0」「1」を出力 | 『利息支払コード』として、「0」「1」を出力<br>また、『利息支払名』として、「前取り」「後取り」を出力 |

いままでは、支払明細の項目を出力しない場合にも支払明細数分の行が出力されていたが、これからは、借入金データの件数分の行だけが出力されるようになりました。

※今回のバージョンから、返済情報明細として、1件の借入金に複数の借入利率や返済間隔、毎回の返済金額を登録できるようになりました。  
返済情報明細の項目を出力する場合は、返済情報数分の行が出力されます。

### 《貸付金データ作成》

処理区分が「追加シミュレーション」・「変更シミュレーション」のデータも出力できるようになりました。

出力できる項目が追加されました。

また、一部の項目の名称が変更されました。

※詳細は、18ページの「汎用データ作成形式 変更履歴」をご参照ください。

作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合や、Excelファイルで出力した場合に、いままではコード列だけが出力されていた項目が、項目名の列も一緒に出力されるようになりました。

#### ▼例

利息入金の登録内容を出力する場合

| 変更前                 | 変更後   |
|---------------------|---|
| 『利息入金』として、「0」「1」を出力 | 『利息入金コード』として、「0」「1」を出力<br>また、『利息入金名』として、「前取り」「後取り」を出力 |

いままでは、回収明細の項目を出力しない場合にも回収明細数分の行が出力されていましたが、これからは、貸付金データの件数分の行だけが出力されるようになりました。

※今回のバージョンから、回収情報明細として、1件の貸付金に複数の貸付利率や回収間隔、毎回の回収金額を登録できるようになりました。

回収情報明細の項目を出力する場合は、回収情報数分の行が出力されます。

### 《定期預金データ作成》

処理区分が「追加シミュレーション」・「変更シミュレーション」のデータも出力できるようになりました。

出力できる項目が追加されました。

また、一部の項目の名称が変更されました。

※詳細は、19ページの「汎用データ作成形式 変更履歴」をご参照ください。

作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合や、Excelファイルで出力した場合に、いままではコード列だけが出力されていた項目が、項目名の列も一緒に出力されるようになりました。

#### ▼例

自動継続の登録内容を出力する場合

| 変更前                   | 変更後  |
|-----------------------|--|
| 『預入自動継続』として、「0」「1」を出力 | 『自動継続コード』として、「0」「1」を出力<br>また、『自動継続名』として、「自動継続する」「自動継続しない」を出力 |

いままでは、預金明細の項目を出力しない場合にも預金明細数分の行が出力されていましたが、これからは、定期預金データの件数分の行だけが出力されるようになりました。

### 《積立定期預金データ作成》

処理区分が「追加シミュレーション」・「変更シミュレーション」のデータも出力できるようになりました。

出力できる項目が追加されました。

また、一部の項目の名称が変更されました。

※詳細は、20ページの「汎用データ作成形式 変更履歴」をご参照ください。

作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合や、Excelファイルで出力した場合に、いままではコード列だけが出力されていた項目が、項目名の列も一緒に出力されるようになりました。

#### ▼例

利息条件の登録内容を出力する場合

| 変更前                    | 変更後   |
|------------------------|---|
| 『利息条件』として、「0」「1」「2」を出力 | 『利息条件コード』として、「0」「1」「2」を出力<br>また、『利息条件名』として、「単利」「年複利」「半年複利」を出力 |

いままでは、積立明細の項目を出力しない場合にも積立明細数分の行が出力されていましたが、これからは、積立定期預金データの件数分の行だけが出力されるようになりました。

### 【随時処理】 - 【汎用データ受入】

#### 《借入金データ受入》

受け入れられる項目が追加されました。

また、一部の項目の名称が変更されました。

※新規追加・名称変更された項目については、操作説明の「汎用データ受入形式一覧表」の「汎用データ受入形式一覧表 変更履歴」シートをご参照ください。

処理区分が「追加シミュレーション」・「変更シミュレーション」のデータも受け入れられるようになりました。

受入結果を印刷・転送できるようになりました。

支払明細を設定しなくても自動計算して受け入れられるようになりました。

※ただし、支払明細を設定しないで受け入れる場合は、以下の項目も必須項目になります。

- ・【返済情報明細】適用開始日(CABI063)
- ・【返済情報明細】返済間隔コード(CABI017)

#### 《貸付金データ受入》

受け入れられる項目が追加されました。

また、一部の項目の名称が変更されました。

※新規追加・名称変更された項目については、操作説明の「汎用データ受入形式一覧表」の「汎用データ受入形式一覧表 変更履歴」シートをご参照ください。

処理区分が「追加シミュレーション」・「変更シミュレーション」のデータも受け入れられるようになりました。

受入結果を印刷・転送できるようになりました。

回収明細を設定しなくても自動計算して受け入れられるようになりました。

※ただし、回収明細を設定しないで受け入れる場合は、以下の項目も必須項目になります。

- ・【回収情報明細】適用開始日(CALI063)



|   |
|---|
| <p>・【回収情報明細】回収間隔コード(CALI017)</p>  |
| <p><b>《定期預金データ受入》</b></p>   |
| <p>受け入れられる項目が追加されました。<br/>また、一部の項目の名称が変更されました。<br/>※新規追加・名称変更された項目については、操作説明の「汎用データ受入形式一覧表」の「汎用データ受入形式一覧表 変更履歴」シートをご参照ください。</p> |
| <p>処理区分が「追加シミュレーション」・「変更シミュレーション」のデータも受け入れられるようになりました。</p>  |
| <p>受入結果を印刷・転送できるようになりました。</p>   |
| <p>預金明細を設定しなくても自動計算して受け入れられるようになりました。</p>   |
| <p><b>《積立定期預金データ受入》</b></p>   |
| <p>受け入れられる項目が追加されました。<br/>また、一部の項目の名称が変更されました。<br/>※新規追加・名称変更された項目については、操作説明の「汎用データ受入形式一覧表」の「汎用データ受入形式一覧表 変更履歴」シートをご参照ください。</p> |
| <p>処理区分が「追加シミュレーション」・「変更シミュレーション」のデータも受け入れられるようになりました。</p>  |
| <p>受入結果を印刷・転送できるようになりました。</p>   |
| <p>積立明細を設定しなくても自動計算して受け入れられるようになりました。<br/>※ただし、積立情報明細の積立明細を設定しないで受け入れる場合は、積立間隔コード(CAFD061)が必須項目になります。</p>                       |

## 変更内容詳細

- **メニューの名称および構成が変更されました。**

以下のとおり、メニューの名称および構成が変更されました。

### ○[年次予算管理]メニュー

| 変更前   | 変更後  |
|---|--|
| [資金管理]-[年次予算管理]-<br>[年次予算管理設定]<br>-[取引先別予算管理設定]メニュー | [導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニューに統合されました。<br>取引先別に予算管理をする取引先は、[取引先登録]メニューの[予算管理]ページで設定できるようになりました。 |

### ○[定型資金管理]メニュー

| 変更前   | 変更後   |
|---|---|
| [資金管理]-[定型資金管理]-<br>[仕訳伝票作成]<br>-[仕訳伝票作成]メニュー<br>-[整理仕訳伝票作成]メニュー<br>-[仕訳伝票作成履歴]メニュー | [資金管理]-[定型資金管理]-[仕訳伝票作成]メニューに統合されました。<br>仕訳伝票の作成、整理仕訳伝票の作成、仕訳伝票履歴の確認・取消がすべて、[仕訳伝票作成]メニューでできるようになりました。       |
| [資金管理]-[定型資金管理]<br>-[定型資金基本科目設定]メニュー  | [導入処理]-[会計期間設定]-[資金機能設定]メニューに統合されました。<br>定型資金を登録する際に初期値として表示する勘定科目は、[資金機能設定]メニューの[定型資金管理]ページで設定できるようになりました。 |

### ○[資金繰シミュレーション]メニュー

| 変更前                                    | 変更後  |
|--|--|
| [資金管理]-[資金繰シミュレーション]<br>-[予算実績対比表]メニュー | [資金管理]-[資金繰シミュレーション]<br>-[資金繰対比表]メニューに名称が変更されました。<br>この変更に伴い、[資金繰明細表]メニューとメニューの並び順が入れ替わり、以下のとおり変更されました。<br>[資金管理]-[資金繰シミュレーション]<br>-[資金繰推移表]メニュー<br>-[資金繰対比表]メニュー<br>-[資金繰明細表]メニュー |

- **帳票別プリンタ登録できる帳票が追加されました。**

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタをメインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。

これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更になります。

| 変更前   | 変更後  |
|---|--|
| <p>全項目とも、前回の印刷時に設定した内容</p> <p>※初回起動時は、「通常使うプリンタ」の内容が表示されます。</p> | <p>メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューでプリンタが登録されているかによって、異なります。</p> <p>○登録済みの場合</p> <p>全項目とも、常に帳票別プリンタ登録の内容</p> <p>※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの設定であれば、印刷時の「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」「倍率」の変更は、帳票別プリンタ登録に反映します。</p> <p>○未登録の場合</p> <p>「プリンタ名」「給紙方法」は、常に「通常使うプリンタ」の内容</p> <p>「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」は、前回の印刷時に設定した内容</p> |

### 注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した内容が初期値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、メインメニューの[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで初期値として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値として表示されます。

### ◀ 対象帳票 ▶

- ・科目別予算管理設定リスト（[資金管理]-[年次予算管理]-[年次予算管理設定]-[科目別予算管理設定]メニュー）
- ・年次予算条件科目設定（[資金管理]-[年次予算管理]-[年次予算管理設定]-[年次予算条件科目設定]メニュー）
- ・借入金台帳（[資金管理]-[定型資金管理]-[借入金登録]メニュー）
- ・貸付金台帳（[資金管理]-[定型資金管理]-[貸付金登録]メニュー）
- ・定期預金台帳（[資金管理]-[定型資金管理]-[定期預金登録]メニュー）
- ・積立定期預金台帳（[資金管理]-[定型資金管理]-[積立定期預金登録]メニュー）
- ・定型支払台帳（[資金管理]-[定型資金管理]-[定型支払登録]メニュー）
- ・定型回収台帳（[資金管理]-[定型資金管理]-[定型回収登録]メニュー）
- ・債権債務データ連携設定リスト（[資金管理]-[債権債務データ連携]-[債権債務データ連携設定]メニュー）
- ・資金繰推移表（[資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰推移表]メニュー）
- ・予算実績対比表（新：資金繰対比表（[資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰対比表]メニュー））
- ・資金繰明細表（[資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰明細表]メニュー）
- ・売上仕入データ受入設定リスト（[随時処理]-[商蔵奉行連動]-[資金管理]-[売上仕入データ受入設定]メニュー）

# 汎用データ作成形式 変更履歴

| ページ             | 項目名                                   | 変更内容    |
|-----------------|---------------------------------------|---------|
| 借入金データ          | 処理区分                                  | 項目の新規追加 |
|                 | 変更元借入金                                |         |
|                 | 繰上返済日                                 |         |
|                 | 休日返済指定                                |         |
|                 | 休日返済適用                                |         |
|                 | 休日カレンダー                               |         |
|                 | 元金返済端数の調整                             |         |
|                 | 元金返済開始日                               |         |
|                 | 利息支払開始日                               |         |
|                 | 最終返済日                                 |         |
|                 | 備考                                    |         |
|                 | 仕訳摘要反映                                |         |
|                 | 返済情報No.                               |         |
|                 | 適用開始日                                 |         |
|                 | 返済間隔適用                                |         |
|                 | 毎回の返済金額                               |         |
|                 | 初回利息金額                                |         |
|                 | 取引先指定                                 |         |
|                 | 取引先                                   |         |
|                 | 借入金勘定科目                               |         |
|                 | 借入金補助科目                               |         |
|                 | 資金科目部門指定                              |         |
|                 | 資金科目セグメント1                            |         |
|                 | 資金科目セグメント2                            |         |
|                 | 資金科目プロジェクト                            |         |
|                 | 資金科目サブプロジェクト                          |         |
|                 | 支払利息勘定科目                              |         |
|                 | 支払利息補助科目                              |         |
|                 | 印紙税勘定科目                               |         |
|                 | 印紙税補助科目                               |         |
|                 | 融資手数料(1)勘定科目                          |         |
|                 | 融資手数料(1)補助科目                          |         |
|                 | 融資手数料(2)勘定科目                          |         |
|                 | 融資手数料(2)補助科目                          |         |
|                 | 1年以内返済長期借入金勘定科目                       |         |
| 1年以内返済長期借入金補助科目 |                                       |         |
| 未経過(前払)勘定科目     |                                       |         |
| 未経過(前払)補助科目     |                                       |         |
| 既経過(未払)勘定科目     |                                       |         |
| 既経過(未払)補助科目     |                                       |         |
| 借入金名            | 項目の名称変更<br>(「借入金名称」から「借入金名」へ変更)       |         |
| 借入金区分           | 項目の名称変更(「借入金処理区分」から「借入金区分」へ変更)        |         |
| 会社銀行            | 項目の名称変更(「会社銀行コード」から「会社銀行」へ変更)         |         |
| 利率適用            | 項目の名称変更<br>(「適用利率」から「利率適用」へ変更)        |         |
| 返済日             | 項目の名称変更<br>(「毎回の返済日」から「返済日」へ変更)       |         |
| 融資手数料(1)        | 項目の名称変更<br>「(融資手数料1)」から「融資手数料(1)」へ変更) |         |
| 融資手数料(2)        | 項目の名称変更<br>「(融資手数料2)」から「融資手数料(2)」へ変更) |         |
| 支払明細No.         | 項目の名称変更<br>(「No」から「支払明細No.」へ変更)       |         |
| 返済日付            | 項目の名称変更<br>(「返済日」から「返済日付」へ変更)         |         |
| 利率              | 項目の名称変更<br>(「適用利率」から「利率」へ変更)          |         |
| 部門              | 項目の名称変更<br>(「部門コード」から「部門」へ変更)         |         |

|                 |                                      |  |
|-----------------|--------------------------------------|--|
|                 | 借入金科目セグメント1                          | 項目の名称変更<br>（「セグメント1コード」から「借入金科目セグメント1」へ変更）     |
|                 | 借入金科目セグメント2                          | 項目の名称変更<br>（「セグメント2コード」から「借入金科目セグメント2」へ変更）     |
|                 | 借入金科目プロジェクト                          | 項目の名称変更<br>（「プロジェクトコード」から「借入金科目プロジェクト」へ変更）     |
|                 | 借入金科目サブプロジェクト                        | 項目の名称変更<br>（「サブプロジェクトコード」から「借入金科目サブプロジェクト」へ変更） |
| 貸付金データ          | 処理区分                                 | 項目の新規追加  |
|                 | 変更元貸付金                               |  |
|                 | 繰上回収日                                |  |
|                 | 休日回収指定                               |  |
|                 | 休日回収適用                               |  |
|                 | 休日カレンダー                              |  |
|                 | 元金回収端数の調整                            |  |
|                 | 元金回収開始日                              |  |
|                 | 利息入金開始日                              |  |
|                 | 最終回収日                                |  |
|                 | 備考                                   |  |
|                 | 仕訳摘要反映                               |  |
|                 | 回収情報No.                              |  |
|                 | 適用開始日                                |  |
|                 | 回収間隔適用                               |  |
|                 | 毎回の回収金額                              |  |
|                 | 初回利息金額                               |  |
|                 | 取引先指定                                |  |
|                 | 取引先                                  |  |
|                 | 貸付金勘定科目                              |  |
|                 | 貸付金補助科目                              |  |
|                 | 資金科目部門指定                             |  |
|                 | 資金科目セグメント1                           |  |
|                 | 資金科目セグメント2                           |  |
|                 | 資金科目プロジェクト                           |  |
|                 | 資金科目サブプロジェクト                         |  |
|                 | 受取利息勘定科目                             |  |
|                 | 受取利息補助科目                             |  |
|                 | 印紙税勘定科目                              |  |
|                 | 印紙税補助科目                              |  |
|                 | 貸付手数料(1)勘定科目                         |  |
|                 | 貸付手数料(1)補助科目                         |  |
|                 | 貸付手数料(2)勘定科目                         |  |
| 貸付手数料(2)補助科目    |                                      |  |
| 1年以内回収長期貸付金勘定科目 |                                      |  |
| 1年以内回収長期貸付金補助科目 |                                      |  |
| 未経過(前受)勘定科目     |                                      |  |
| 未経過(前受)補助科目     |                                      |  |
| 既経過(未収)勘定科目     |                                      |  |
| 既経過(未収)補助科目     |                                      |  |
| 貸付金名            | 項目の名称変更<br>（「貸付金名称」から「貸付金名」へ変更）      |  |
| 貸付金区分           | 項目の名称変更<br>（「貸付金処理区分」から「貸付金区分」へ変更）   |  |
| 会社銀行            | 項目の名称変更<br>（「会社銀行コード」から「会社銀行」へ変更）    |  |
| 利率適用            | 項目の名称変更<br>（「適用利率」から「利率適用」へ変更）       |  |
| 回収日             | 項目の名称変更<br>（「毎回の回収日」から「回収日」へ変更）      |  |
| 貸付手数料(1)        | 項目の名称変更<br>（「貸付手数料1」から「貸付手数料(1)」へ変更） |  |
| 貸付手数料(2)        | 項目の名称変更<br>（「貸付手数料2」から「貸付手数料(2)」へ変更） |  |
| 回収明細No.         | 項目の名称変更<br>（「No」から「回収明細No.」へ変更）      |  |
| 回収日付            | 項目の名称変更<br>（「回収日」から「回収日付」へ変更）        |  |

|              |   |  |
|--------------|---|--|
|              | 利率  | 項目の名称変更<br>（「適用利率」から「利率」へ変更）                   |
|              | 部門  | 項目の名称変更<br>（「部門コード」から「部門」へ変更）                  |
|              | 貸付金科目セグメント1                                 | 項目の名称変更<br>（「セグメント1コード」から「貸付金科目セグメント1」へ変更）     |
|              | 貸付金科目セグメント2                                 | 項目の名称変更<br>（「セグメント2コード」から「貸付金科目セグメント2」へ変更）     |
|              | 貸付金科目プロジェクト                                 | 項目の名称変更<br>（「プロジェクトコード」から「貸付金科目プロジェクト」へ変更）     |
|              | 貸付金科目サブプロジェクト                               | 項目の名称変更<br>（「サブプロジェクトコード」から「貸付金科目サブプロジェクト」へ変更） |
| 定期預金データ      | 処理区分  | 項目の新規追加  |
|              | 変更元定期預金                                     |  |
|              | 中途解約日                                       |  |
|              | 中途解約利率                                      |  |
|              | 休日入金指定                                      |  |
|              | 休日カレンダー                                     |  |
|              | ベース日数                                       |  |
|              | 備考  |  |
|              | 仕訳摘要反映                                      |  |
|              | 取引先指定                                       |  |
|              | 取引先   |  |
|              | 定期預金勘定科目                                    |  |
|              | 定期預金補助科目                                    |  |
|              | 資金科目部門指定                                    |  |
|              | 資金科目セグメント1                                  |  |
|              | 資金科目セグメント2                                  |  |
|              | 資金科目プロジェクト                                  |  |
|              | 資金科目サブプロジェクト                                |  |
|              | 受取利息勘定科目                                    |  |
|              | 受取利息補助科目                                    |  |
|              | 租税公課勘定科目                                    |  |
|              | 租税公課補助科目                                    |  |
|              | 租税公課(所得税)勘定科目                               |  |
|              | 租税公課(所得税)補助科目                               |  |
|              | 租税公課(住民税)勘定科目                               |  |
|              | 租税公課(住民税)補助科目                               |  |
|              | 定期預金コード                                     | 項目の名称変更<br>（「固定性預金コード」から「定期預金コード」へ変更）          |
| 定期預金名        | 項目の名称変更<br>（「預金名称」から「定期預金名」へ変更）             |  |
| 預入日付         | 項目の名称変更<br>（「預入日」から「預入日付」へ変更）               |  |
| 預入金額         | 項目の名称変更<br>（「預入額」から「預入金額」へ変更）               |  |
| 満期日付         | 項目の名称変更<br>（「預入満期日」から「満期日付」へ変更）             |  |
| 会社銀行         | 項目の名称変更<br>（「会社銀行コード」から「会社銀行」へ変更）           |  |
| 利率           | 項目の名称変更<br>（「利率(年利)」から「利率」へ変更）              |  |
| 自動継続         | 項目の名称変更<br>（「預入自動継続」から「自動継続」へ変更）            |  |
| 継続回数         | 項目の名称変更<br>（「預入継続回数」から「継続回数」へ変更）            |  |
| 満期日付         | 項目の名称変更<br>（「満期日」から「満期日付」へ変更）               |  |
| 預入金額         | 項目の名称変更<br>（「預入額」から「預入金額」へ変更）               |  |
| 部門           | 項目の名称変更<br>（「部門コード」から「部門」へ変更）               |  |
| 定期預金科目セグメント1 | 項目の名称変更<br>（「セグメント1コード」から「定期預金科目セグメント1」へ変更） |  |
| 定期預金科目セグメント2 | 項目の名称変更<br>（「セグメント2コード」から「定期預金科目セグメント2」へ変更） |  |

|                  |   |   |
|------------------|---|---|
|                  | 定期預金科目プロジェクト                                      | 項目の名称変更<br>（「プロジェクトコード」から「定期預金科目プロジェクト」へ変更）     |
|                  | 定期預金科目サブプロジェクト                                    | 項目の名称変更<br>（「サブプロジェクトコード」から「定期預金科目サブプロジェクト」へ変更） |
|                  | 課税額（所得税）<br>課税額（住民税）                              | 項目の新規追加・名称変更<br>「課税額」から「課税額（所得税）」と「課税額（住民税）」に変更 |
| 積立定期預金データ        | 処理区分  | 項目の新規追加   |
|                  | 変更元積立定期預金   |   |
|                  | 満期日付  |   |
|                  | 中途解約日   |   |
|                  | 中途解約利率  |   |
|                  | 休日積立指定  |   |
|                  | 休日カレンダー   |   |
|                  | ベース日数   |   |
|                  | 備考  |   |
|                  | 仕訳摘要反映  |   |
|                  | 取引先指定   |   |
|                  | 取引先   |   |
|                  | 積立定期預金勘定科目  |   |
|                  | 積立定期預金補助科目  |   |
|                  | 資金科目部門指定  |   |
|                  | 資金科目セグメント1  |   |
|                  | 資金科目セグメント2  |   |
|                  | 資金科目プロジェクト  |   |
|                  | 資金科目サブプロジェクト                                      |   |
|                  | 受取利息勘定科目  |   |
|                  | 受取利息補助科目  |   |
|                  | 租税公課勘定科目  |   |
|                  | 租税公課補助科目  |   |
|                  | 租税公課(所得税)勘定科目                                     |   |
|                  | 租税公課(所得税)補助科目                                     |   |
|                  | 租税公課(住民税)勘定科目                                     |   |
|                  | 租税公課(住民税)補助科目                                     |   |
|                  | 積立定期預金コード   | 項目の名称変更<br>（「固定性預金コード」から「積立定期預金コード」へ変更）         |
|                  | 積立定期預金名   | 項目の名称変更<br>（「預金名称」から「積立定期預金名」へ変更）               |
|                  | 会社銀行  | 項目の名称変更<br>（「会社銀行コード」から「会社銀行」へ変更）               |
|                  | 積立日   | 項目の名称変更<br>（「毎回の積立日」から「積立日」へ変更）                 |
|                  | 利率  | 項目の名称変更<br>（「利率（年利）」から「利率」へ変更）                  |
| 積立明細No.          | 項目の名称変更<br>（「No」から「積立明細No.」へ変更）                   |   |
| 積立日付             | 項目の名称変更<br>（「積立日」から「積立日付」へ変更）                     |   |
| 積立金額(累計)         | 項目の名称変更<br>（「積立額(累計)」から「積立金額(累計)」へ変更）             |   |
| 利息累計             | 項目の名称変更<br>（「利息計」から「利息累計」へ変更）                     |   |
| 部門               | 項目の名称変更<br>（「部門コード」から「部門」へ変更）                     |   |
| 積立定期預金科目セグメント1   | 項目の名称変更<br>（「セグメント1コード」から「積立定期預金科目セグメント1」へ変更）     |   |
| 積立定期預金科目セグメント2   | 項目の名称変更<br>（「セグメント2コード」から「積立定期預金科目セグメント2」へ変更）     |   |
| 積立定期預金科目プロジェクト   | 項目の名称変更<br>（「プロジェクトコード」から「積立定期預金科目プロジェクト」へ変更）     |   |
| 積立定期預金科目サブプロジェクト | 項目の名称変更<br>（「サブプロジェクトコード」から「積立定期預金科目サブプロジェクト」へ変更） |   |

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.13 >



## 変更内容一覧

---

|  |
|--|
| <b>【導入処理】</b>  |
| <b>《資金機能設定》</b>  |
| 画面が、[年次予算管理]ページと[債権債務データ連携]ページに分かれました。<br>[年次予算管理]ページには年次予算管理に関する設定が、[債権債務データ連携]ページには債権債務データ連携に関する設定が配置されています。 |

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.10/Ver.2.09/Ver.2.07 >

## 変更内容一覧

|   |
|---|
| <b>《法改正情報》</b>  |
| 平成26年4月施行消費税8%改正に対応しました。<br>○新税率の施行日（平成26年4月1日）を基準とし、伝票日付から消費税率8%と5%を自動判定します。<br>○消費税率引き上げ後でも、旧税率5%が適用される「経過措置」にも対応しています。 |
| <b>《メニュー構成》</b>   |
| メニューの名称および構成が変更されました。<br>※詳細は、3ページをご参照ください。   |
| <b>《取引先別予算管理設定》</b>   |
| 債権主勘定科目／売上主勘定科目／仕入主勘定科目／債務主勘定科目の設定が、新規メニューの[資金管理]-[債権債務データ連携]-[債権債務データ連携設定]メニューに移動しました。<br>これに伴い、画面レイアウト・印刷レイアウトが変わりました。  |
| <b>《その他定型支払、その他定型回収》</b>  |
| <b>※新：定型支払、定型回収</b>   |
| 入力画面のレイアウトが変わりました。  |
| 途中で支払金額（回収金額）などを変更できるようになりました。  |
| 支払明細（回収明細）ごとに税処理、端数処理、税率を変更できるようになりました。   |
| 検索条件として指定できる項目が増えました。<br>※この変更に伴い、[基本条件]ページ、[詳細条件]ページの設定方法が変わりました。<br>また、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した検索条件が初期化されます。    |
| 検索条件画面に[出力順]ページが追加され、出力する際のデータの並び順を指定できるようになりました。   |
| 印刷レイアウトが変わりました。<br>※この変更に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した印刷条件が初期化されます。   |
| 印刷で、部門を印刷するかを設定できるようになりました。   |
| 印刷で、プロジェクト、セグメントのフォントサイズ指定できるようになりました。<br>※この変更に伴い、印刷条件画面のプロジェクト、セグメント出力の設定方法が変わりました。                                     |
| 汎用データ作成時で、作成形式が「カンマ区切」「タブ区切」の場合に、数値で設定されている項目については、設定されている数値だけでなく、その内容も出力されるようになりました。<br>また、出力される項目名が変わりました。              |
| <b>《債権債務データ連携》</b>  |
| <b>※新：債権債務データ連携</b>   |
| 『受取手形管理オプション』『支払手形管理オプション』『電子記録債権連携サービス（てん末管理対応）』と連携できるようになりました。  |
| [債権データ連携]メニュー、[債務データ連携]メニュー、[手形データ連携]メニューが1つのメニューに統合され、複数の種類のデータを1度で処理できるようになりました。  |

|   |
|---|
| <p>※この変更に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した連携条件、印刷条件が初期化されます。</p>  |
| <p>連携する期間を日付単位で指定できるようになりました。</p>   |
| <p>ファイル連携で、すでに受入済みの期間のデータを追加で受け入れる際に、前回からの差分のデータしか含まれていないファイルでも受け入れできるようになりました。</p>   |
| <p>ファイル連携で、受入期間を指定しなくても、ファイル内のデータをすべて受け入れできるようになりました。</p>   |
| <p><b>《債権債務データ連携》</b><br/> <b>※新：売上仕入データ受入</b></p>  |
| <p>[債権データ連携]メニュー、[債務データ連携]メニューが1つのメニューに統合され、売上伝票データと仕入伝票データを1つのメニューで処理できるようになりました。<br/>         ※この変更に伴い、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した受入条件、印刷条件が初期化されます。</p> |
| <p>予定仕訳に使用する勘定科目は、取引先共通の設定（基本設定）と、取引先別の設定ができるようになりました。</p>  |
| <p>受入期間を指定しなくても、ファイル内のデータをすべて受け入れできるようになりました。<br/>         また、前回からの差分のデータしか含まれていないファイルでも受け入れできるようになりました。</p>  |

- メニューの名称および構成が変更されました。

○「その他定型支払」と「その他定型回収」の変更

「その他」を削除し、以下のとおり、メニューの名称が変更されました。

※下記のメニュー以外での表記についても、「その他」が削除され、「定型支払」「定型回収」に変更されています。

| 変更前   | 変更後  |
|---|--|
| [資金管理]-[定型資金管理]<br>-[その他定型支払登録]メニュー                     | [資金管理]-[定型資金管理]<br>-[定型支払登録]メニュー                     |
| [資金管理]-[定型資金管理]<br>-[その他定型回収登録]メニュー                     | [資金管理]-[定型資金管理]<br>-[定型回収登録]メニュー                     |
| [随時処理]-[汎用データ作成]<br>-[資金管理データ作成]<br>-[その他定型支払データ作成]メニュー | [随時処理]-[汎用データ作成]<br>-[資金管理データ作成]<br>-[定型支払データ作成]メニュー |
| [随時処理]-[汎用データ作成]<br>-[資金管理データ作成]<br>-[その他定型回収データ作成]メニュー | [随時処理]-[汎用データ作成]<br>-[資金管理データ作成]<br>-[定型回収データ作成]メニュー |
| [随時処理]-[汎用データ受入]<br>-[資金管理データ受入]<br>-[その他定型支払データ受入]メニュー | [随時処理]-[汎用データ受入]<br>-[資金管理データ受入]<br>-[定型支払データ受入]メニュー |
| [随時処理]-[汎用データ受入]<br>-[資金管理データ受入]<br>-[その他定型回収データ受入]メニュー | [随時処理]-[汎用データ受入]<br>-[資金管理データ受入]<br>-[定型回収データ受入]メニュー |

○債権債務データ連携の変更

[債権債務データ連携]メニューは、<オプション製品との連携>と、<『商蔵奉行』との連携>が分かりやすいように、機能ごとにメニューが分割されました。

また、それぞれの機能で必要な設定についても、メニューが移動しました。

| 変更前  | 変更後   |
|--|---|
| [資金管理]-[債権債務データ連携]<br>-[債権データ連携]メニュー                     | <b>&lt;オプション製品との連携&gt;</b><br>・ [資金管理]-[債権債務データ連携]<br>- [債権債務データ連携]メニュー<br>・ [資金管理]-[債権債務データ連携]<br>- [債権債務データ連携設定]メニュー        |
| [資金管理]-[債権債務データ連携]<br>-[債務データ連携]メニュー                     |   |
| [資金管理]-[債権債務データ連携]<br>-[手形データ連携]メニュー                     |   |
| [資金管理]-[債権債務データ連携]<br>-[債権債務データ受入設定]<br>-[債権データ受入設定]メニュー | <b>&lt;『商蔵奉行』との連携&gt;</b><br>・ [随時処理]-[商蔵奉行連動]-[資金管理]<br>- [売上仕入データ受入]メニュー<br>・ [随時処理]-[商蔵奉行連動]-[資金管理]<br>- [売上仕入データ受入設定]メニュー |
| [資金管理]-[債権債務データ連携]<br>-[債権債務データ受入設定]<br>-[債務データ受入設定]メニュー |   |

[資金管理]-[年次予算管理]-[年次予算  
管理設定]-  
[取引先別予算管理設定]メニュー

財務会計システム

# 勘定奉行V ERP

## 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.2.06 >

|   |   |
|---|---|
| <b>【全般】</b>   |   |
| 電子記録債権で決済する債権債務の資金繰シミュレーションができるようになりました。                          | 2 |
| 取引先の検索条件が追加されました。   | 2 |
| データ領域の環境構築をする際の操作方法が変わりました。                                       | 3 |
| <b>【導入処理】</b>   |   |
| <b>《資金運用設定》</b>   |   |
| 定期預金・積立定期預金の受取利息に対する課税税率について、国税(所得税分)と地方税(住民税分)を分けて設定できるようになりました。 | 4 |



- 電子記録債権で決済する債権債務の資金繰シミュレーションができるようになりました。

[導入処理]-[決済方法登録]-[回収方法登録]メニューの[基本]ページで設定する回収種別と、  
[導入処理]-[決済方法登録]-[支払方法登録]メニューの[基本]ページで設定する支払種別に  
「8：電子記録債権」が追加され、売上予算の回収方法、仕入予算の支払方法として、電子記録  
債権を指定できるようになりました。

また、債権債務データ連携でも、電子記録債権の情報を登録できるようになりました。

【関連メニュー】

- ・ [導入処理]-[会計期間設定]-[資金機能設定]メニュー
- ・ [導入処理]-[決済方法登録]-[回収方法登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[決済方法登録]-[支払方法登録]メニュー
- ・ [資金管理]-[年次予算管理]-[年次予算登録]メニュー
- ・ [資金管理]-[年次予算管理]-[年次予算管理設定]-[年次予算条件科目設定]メニュー
- ・ [資金管理]-[債権債務データ連携]-[手形データ連携]メニュー

- 取引先の検索条件が追加されました。

取引先を検索する際の絞込条件が追加されました。

◀ 関連メニュー ▶

- ・ [導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー
- ・ [導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニュー
- ・ [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[取引先データ作成]-[取引先データ作成]メニュー

※以下のメニューは、『自動実行管理オプション』をお使いの場合に使用できます。

- ・ [自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行取引先データ作成]メニュー

● データ領域の環境構築をする際の操作方法が変わりました。

以下の処理をする際に、データ領域の環境構築をする操作方法が変わりました。

○旧バージョンのプログラムで作成した、バックアップデータの読み込み

バックアップデータを読み込んだ後に、オプションのメニューを開こうとすると、以下のメッセージが表示されます。

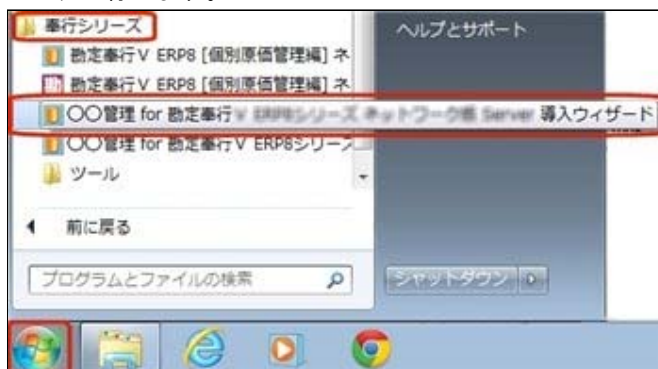
そのまま、[OK] ボタンをクリックして、環境構築を開始してください。



○今までオプションの運用をしていなかったデータ領域で、オプションの運用開始

[スタート] ボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [奉行シリーズ] (- [ツール]) から、導入ウィザードを起動します。

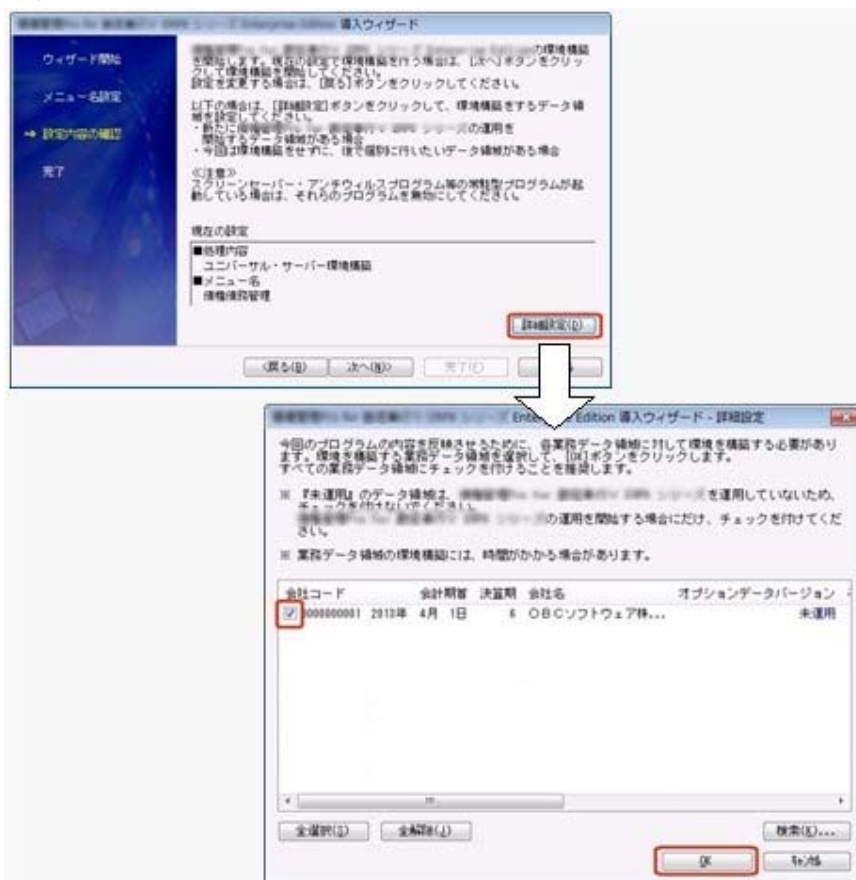
※ネットワーク版をお使いの場合は、サーバープログラムがセットアップされているコンピュータで行います。



[次へ] ボタンで、進めます。



設定内容の確認画面で「詳細設定」ボタンをクリックします。  
オプションの運用を開始するデータ領域にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックします。



設定内容の確認画面に戻りますので、そのまま「次へ」ボタンをクリックして、環境構築を開始します。

- 定期預金・積立定期預金の受取利息に対する課税税率について、国税(所得税分)と地方税(住民税分)を分けて設定できるようになりました。

必要に応じて資金運用設定メニューにて設定してください。

▼例

国税(所得税分) : 15.315%

地方税(住民税分) : 5.000%

勘定奉行VERP

# 機能アップガイド

資金管理オプション

< Ver.2.05/Ver.2.04/Ver.2.03/Ver.2.02/Ver.2.01/Ver.2.00 >



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.

## 変更内容一覧

|  |
|--|
| <b>【メニュー体系】</b>  |
| メニューの名称および構成を変更<br>※詳細は、3ページをご参照ください。  |
| <b>【全般】</b>  |
| 帳票別プリンタ登録に対応<br>※詳細は、3ページをご参照ください。   |
| ファクタリング債権のてん末の名称を変更<br>「裏書」→「譲渡」   |
| <b>【導入処理】</b>  |
| <b>◀資金機能設定▶</b>  |
| [期日現金科目]ページを追加   |
| <b>◀会社銀行登録▶</b>  |
| ページの名称を変更<br>・[FB設定]ページ→[E B]ページ   |
| [決済日振替設定]ページを追加し、手形・ファクタリング・期日現金の期日が休日の場合に、決済日付を翌営業日に振り替える機能を追加<br>※『債権管理Proオプション』『債権管理オプション』『受取手形管理オプション』のいずれかのオプションもお使いの場合は、受取手形、ファクタリング債権については、[導入処理]-[会計期間設定]-[手形機能設定]メニューの設定に従います。<br>※『債務管理Proオプション』『債務管理オプション』『支払手形管理オプション』のいずれかのオプションもお使いの場合は、支払手形、ファクタリング債務については、[導入処理]-[会計期間設定]-[手形機能設定]メニューの設定に従います。<br>※この機能は、Ver. 2.02で追加されました。 |
| <b>◀回収方法登録▶</b>  |
| ファクタリングと期日現金の回収種別を分離<br>変更前<br>「6：ファクタリング・期日現金」<br>変更後<br>「6：ファクタリング」<br>「7：期日現金」<br>※以前のバージョンで「6：ファクタリング・期日現金」に設定して登録した回収方法は、「6：ファクタリング」にコンバートされます。<br>また、「6：ファクタリング」でも、今までどおり期日現金の処理ができます。   |
| 回収種別が「6：ファクタリング」の場合に「ファクタリング会社」を設定できるように変更   |
| <b>【随時処理】</b>  |
| <b>◀回収方法データ作成▶</b>   |
| ファクタリングと期日現金の回収種別を分離に伴い、回収種別の表示を変更<br>変更前<br>「6：ファクタリング・期日現金」<br>変更後<br>「6：ファクタリング」<br>「7：期日現金」  |

|   |
|---|
| <b>《回収方法データ受入》</b>  |
| <p>ファクタリングと期日現金の回収種別を分離に伴い、回収種別の表示を変更</p> <p>変更前<br/>「6：ファクタリング・期日現金」</p> <p>変更後<br/>「6：ファクタリング」<br/>「7：期日現金」</p> |
| 受入項目に「ファクタリング会社」追加  |
| <b>【管理ツール】</b>  |
| <b>《登録件数情報》</b>   |
| [データタイプバージョン]ページ、[ユニットタイプバージョン]ページを追加   |

### ● メニューの名称および構成を変更

#### 注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

#### ○[取引先一括登録]メニューの追加

[導入処理]-[取引先登録]-[取引先一括登録]メニューが追加されました。

#### ○[マスターデータ一括削除]メニューの追加

[随時処理]-[データ一括削除]-[マスターデータ一括削除]メニューが追加され、以下のメニューが追加されました。

- ・ [回収方法データ一括削除]メニュー
- ・ [支払方法データ一括削除]メニュー
- ・ [取引先データ一括削除]メニュー

### ● 帳票別プリンタ登録に対応

以下の帳票について、初期値として表示するプリンタを勘定奉行の[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。

これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更になります。

| 変更前   | 変更後  |
|---|--|
| <p>全項目とも、前回の印刷時に設定した内容</p> <p>※初回起動時は、「通常使うプリンタ」の内容が表示されます。</p> | <p>[帳票別プリンタ登録]メニューでプリンタが登録されているかによって、異なります。</p> <p>○登録済みの場合</p> <p>全項目とも、常に帳票別プリンタ登録の内容</p> <p>※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの設定であれば、印刷時の「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」「倍率」の変更は、帳票別プリンタ登録に反映します。</p> <p>○未登録の場合</p> <p>「プリンタ名」「給紙方法」は、常に「通常使うプリンタ」の内容</p> <p>「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」は、前回の印刷時に設定した内容</p> |

### 注 意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した内容が初期値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、[帳票別プリンタ登録]メニューで初期値として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニューの登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値として表示されます。

### 《 対象帳票 》

- ・ 資金繰項目リスト（[資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰項目設定]-[資金繰項目登録]メニュー）
- ・ 資金繰属性リスト（[資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰項目設定]-[資金繰属性設定]メニュー）



勘定奉行 **VERP**

# 機能アップガイド

**資金管理オプション**

< Ver.1.65/Ver.1.64/Ver.1.62/Ver.1.61/Ver.1.60 >



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.

## 変更内容一覧

|  |
|--|
| <b>【メニュー体系】</b>  |
| メニューの名称および構成を変更<br>※詳細は、5ページをご参照ください。  |
| <b>【全般】</b>  |
| 仕訳伝票の重複チェックが「1：月度単位チェック」または「2：年度単位チェック」の場合に、各処理で作成される仕訳伝票の伝票No.も重複チェックするように変更  |
| 「0：その他」マスターの出力順序を変更<br>○変更前<br>コード順：0, 1, 2, 3<br>○変更後<br>コード順：1, 2, 3, 0  |
| 各履歴メニューの取消処理をする際に、仕訳伝票がすでに承認済・転記済だった場合の処理を以下のとおり変更<br>○変更前<br>取消方法が「伝票削除」の場合でも、必ず反対仕訳を作成して取消を実行<br>○変更後<br>取消方法が「伝票削除」の場合は、削除できない旨のメッセージを表示し、取消を実行しない<br>(この場合は、取消方法で「反対仕訳」を選択することで取消を実行します。)  |
| 以下のメニュー（帳票）について、初期値として表示するプリンタを勘定奉行の[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるように変更<br>○変更前<br>全項目とも、前回の印刷時に設定した内容<br>○変更後<br>[帳票別プリンタ登録]メニューでプリンタが登録されているかによって、異なります。<br><登録済みの場合><br>全項目とも、常に帳票別プリンタ登録の内容<br><未登録の場合><br>「プリンタ名」「給紙方法」は、常に「通常使うプリンタ」の内容<br>「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」は、前回の印刷時に設定した内容 |
| <b>【関連メニュー】</b><br>[債権債務機能設定]メニュー／[資金機能設定]メニュー／[会社銀行登録]メニュー／[会社銀行科目設定]メニュー／[回収方法登録]メニュー／[支払方法登録]メニュー   |
| 監査用のアカウント（読み取り専用アカウント）でログインしたときに、当オプションのメニューも表示されるように変更（データの閲覧と更新をするメニューは、自動的に閲覧だけに制限された状態で表示。）  |
| 以下のマスターについて、新規登録または修正した内容を翌会計期間に反映できるように変更<br>回収方法・支払方法  |
| <b>【導入処理】</b>  |
| <b>◀債権債務機能設定▶</b>  |
| [債権管理]ページ・[債務管理]ページを追加   |

|   |
|---|
| <p>ページを追加することで、『債権管理Proオプション』 + 『債務管理Proオプション』 の組み合わせ、『債権管理オプション』 + 『債務管理オプション』 の組み合わせでお使いの場合に、設定が混在して煩雑なるのを防止</p> <p>ページの名前も一部変更</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [基本仕訳設定] ページ → [科目設定] ページ</li> <li>・ [請求支払設定] ページ → [請求仕訳設定] ページ<br/>→ [支払仕訳設定] ページ</li> </ul>   |
| <p>選択項目の入力方法を、ラジオボタンで選択する方法から、数字を入力して選択する方法に変更</p>  |
| <p><b>《資金機能設定》</b></p>  |
| <p>選択項目の入力方法を、ラジオボタンで選択する方法から、数字を入力して選択する方法に変更</p>  |
| <p><b>《会社銀行登録》</b></p>  |
| <p>預金種目に「4：貯蓄預金」を設定できないように変更</p>  |
| <p><b>《会社銀行科目設定》</b></p>  |
| <p>割引限度額適用日付の「年」を4桁に変更</p>  |
| <p><b>《取引先登録》</b></p>   |
| <p>取引先を新規登録または修正した場合に、その内容を翌会計期間に反映できるように変更</p> <p>取引先名（取引先名1、取引先名2、取引先名カナ）・回収方法・分割回収方法・支払方法・分割支払方法</p>   |
| <p>勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、入力項目に取引先区分を追加</p>  |
| <p><b>【資金管理】</b></p>  |
| <p><b>《年次予算登録》</b></p>  |
| <p>以下のメニューは、部門権限に非対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [資金管理]-[年次予算管理]-[年次予算登録]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰推移表]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[資金繰明細表]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[資金繰シミュレーション]-[予算実績対比表]メニュー</li> </ul> <p>⇒メニュー起動時に部門権限を評価しない</p> <p style="padding-left: 20px;">部門指定時に部門権限を評価しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[借入金登録]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[貸付金登録]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[定期預金登録]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[積立定期預金登録]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[その他定型支払登録]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[その他回収支払登録]メニュー</li> </ul> <p>⇒部門指定時に部門権限を評価しない</p> <p style="padding-left: 20px;">登録時に部門権限を評価しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[仕訳伝票作成]-[整理仕訳伝票作成]メニュー</li> <li>・ [資金管理]-[定型資金管理]-[仕訳伝票作成]-[仕訳伝票作成履歴]メニュー</li> </ul> <p>⇒部門権限を無視して書き込む</p> <p style="padding-left: 20px;">仕訳伝票修正時に部門権限を評価しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金明細表]メニュー</li> </ul> |

- ・ [資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金返済予定明細表]メニュー
  - ・ [資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金月別推移表]メニュー
  - ・ [資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[支払利息経過勘定明細表]メニュー
  - ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金明細表]メニュー
  - ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金回収予定明細表]メニュー
  - ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[受取利息経過勘定明細表]メニュー
  - ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[受取利息経過勘定合計表]メニュー
  - ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金月別推移表]メニュー
  - ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金回収予定集計表]メニュー
- ⇒部門指定時に部門権限を評価しない

### 《借入金登録》

利率の小数桁数を、3桁から5桁に変更

#### 【関連メニュー】

- ・ [資金管理]-[定型資金管理]-[借入金登録]メニュー
- ・ [資金管理]-[定型資金管理]-[貸付金登録]メニュー
- ・ [資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金明細表]メニュー
- ・ [資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[借入金返済予定明細表]メニュー
- ・ [資金管理]-[管理帳票]-[借入金管理]-[支払利息経過勘定明細表]メニュー
- ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金明細表]メニュー
- ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[貸付金回収予定明細表]メニュー
- ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[受取利息経過勘定明細表]メニュー
- ・ [資金管理]-[管理帳票]-[貸付金管理]-[受取利息経過勘定合計表]メニュー

#### 【随時処理】

### 《回収方法データ作成》

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面（[回収方法データ作成 - 出力条件設定]画面の[基本条件]ページ）について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変更。

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

### 《支払方法データ作成》

作成するデータを絞り込む際の条件設定画面（[支払方法データ作成 - 出力条件設定]画面の[基本条件]ページ）について、検索条件を指定する項目をリストから選択する形式に変更。

※この変更にともない、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した作成条件が初期化されます。

### 《取引先データ作成》

勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、出力項目に取引先区分を追加

### 《取引先データ受入》

勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、受入項目に取引先区分を追加

#### 【自動実行管理】

### 《自動実行取引先データ作成》

勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、出力項目に取引先区分を追加

### 《自動実行取引先データ受入》

取引先データを受け入れた場合に、その内容を最新の会計期間だけでなく、前年度にも反映

できるように変更

取引先名（取引先名1、取引先名2、取引先名カナ）・回収方法・分割回収方法・支払方法・分割支払方法

勘定奉行に取引先区分別の集計機能が追加されたことに伴い、受入項目に取引先区分を追加

## 変更内容詳細

- メニューの名称および構成を変更
- メニューの名称を変更

| 変更前                          | 変更後                            |
|------------------------------|--------------------------------|
| [導入処理]-[会計期間設定]<br>-[会計期間設定] | [導入処理]-[会計期間設定]<br>-[債権債務機能設定] |
| [資金管理処理]                     | [資金管理]                         |

勘定奉行VERP

# 機能アップガイド

資金管理オプション

< Ver.1.56/Ver.1.55/Ver.1.54 >



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.

|  |   |
|--|---|
| <b>【資金管理オプション】</b>                                 |   |
| <b>《メニュー体系》</b>                                    |   |
| メニューの名称および構成を変更                                    | 2 |
| <b>《全般》</b>  |   |
| 一部の帳票で、帳票別プリンタ登録に対応                                | 3 |
| <b>《導入処理》</b>                                      |   |
| [資金運用設定]メニューに対して、過去に更新されたデータの内容をログで確認できるように変更      | 4 |
| [資金運用設定]メニューで、各項目の入力方法を変更                          | 4 |
| [回収方法登録]メニューの借方部門固定の項目名および選択肢を変更                   | 5 |
| [支払方法登録]メニューの貸方部門固定の項目名および選択肢を変更                   | 5 |
| <b>《資金管理処理》</b>                                    |   |
| [債権データ連携]メニューで、他のシステムの債権データを受け入れる際の受入記号を変更         | 5 |
| [債務データ連携]メニューで、他のシステムの債務データを受け入れる際の受入記号を変更         | 6 |
| <b>《随時処理》</b>                                      |   |
| [取引先データ受入]メニューで、不要な受入記号があっても受け入れられるように変更           | 6 |
| <b>《自動実行管理》</b>                                    |   |
| <b>＜『自動実行管理オプション』をお使いの場合＞</b>                      |   |
| [自動実行取引先データ作成]メニューを追加                              | 6 |
| 自動実行取引先データ受入で、汎用データ全体がエラーとなった場合でも実行済フォルダに移動するように変更 | 6 |



**注 意**

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

## 資金管理オプション

### 《メニュー体系》

#### ● メニューの名称および構成を変更

##### ○登録する順番になるように、[導入処理]メニューの並び順を変更

| 変更前  | 変更後  |
|--|--|
| [導入処理]<br>-[運用設定]<br>-[会計期間設定]<br>-[取引先登録]<br>-[会社銀行登録]<br>-[決済方法登録] | [導入処理]<br>-[運用設定]<br>-[会計期間設定]<br>-[会社銀行登録]<br>-[決済方法登録]<br>-[取引先登録] |

##### ○[運用設定]メニューの並び順を変更

| 変更前                                   | 変更後                                   |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| [導入処理]-[運用設定]<br>-[休日登録]<br>-[資金運用設定] | [導入処理]-[運用設定]<br>-[資金運用設定]<br>-[休日登録] |

##### ○[会社銀行科目設定]メニューを[会社銀行登録]メニューに移動

| 変更前                            | 変更後                            |
|--------------------------------|--------------------------------|
| [導入処理]-[会計期間設定]<br>-[会社銀行科目設定] | [導入処理]-[会社銀行登録]<br>-[会社銀行科目設定] |

##### ○[導入処理]メニューの並び順にあわせて、[マスターデータ作成]メニュー・[マスターデータ受入]メニューの並び順を変更

| 変更前   | 変更後   |
|---|---|
| [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]<br>-[取引先データ作成]<br>-[決済方法データ作成] | [随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]<br>-[決済方法データ作成]<br>-[取引先データ作成] |
| [随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]<br>-[取引先データ受入]<br>-[決済方法データ受入] | [随時処理]-[汎用データ受入]-[マスターデータ受入]<br>-[決済方法データ受入]<br>-[取引先データ受入] |

## 《全般》

### ● 一部の帳票で、帳票別プリンタ登録に対応

一部の帳票について、初期値として表示するプリンタを、勘定奉行の[導入処理]-[運用設定]-[帳票別プリンタ登録]メニューで登録できるようになりました。

これにより、[プリンタ設定]ページで初期値として表示される内容が、以下のとおり変更になります。

| 変更前  | 変更後  |
|--|--|
| 全項目とも、前回の印刷時に設定した内容<br>※初回起動時は、「通常使うプリンタ」の内容が表示されます。 | [帳票別プリンタ登録]メニュー でプリンタが登録されているかによって、異なります。<br>○登録済みの場合<br>全項目とも、常に帳票別プリンタ登録の内容<br>※帳票別プリンタ登録が利用者ごとの設定であれば、印刷時の「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」「倍率」の変更は、帳票別プリンタ登録に反映します。<br>○未登録の場合<br>「プリンタ名」「給紙方法」は、常に「通常使うプリンタ」の内容<br>「サイズ」「印刷の向き」「余白・位置調整」は、前回の印刷時に設定した内容 |

#### 注意

この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した内容が初期値として表示されなくなります。

帳票を印刷する前に、[帳票別プリンタ登録]メニュー で初期値として表示するプリンタを登録してください。

※[帳票別プリンタ登録]メニュー の登録をしない場合は、常に「通常使うプリンタ」が初期値として表示されます。

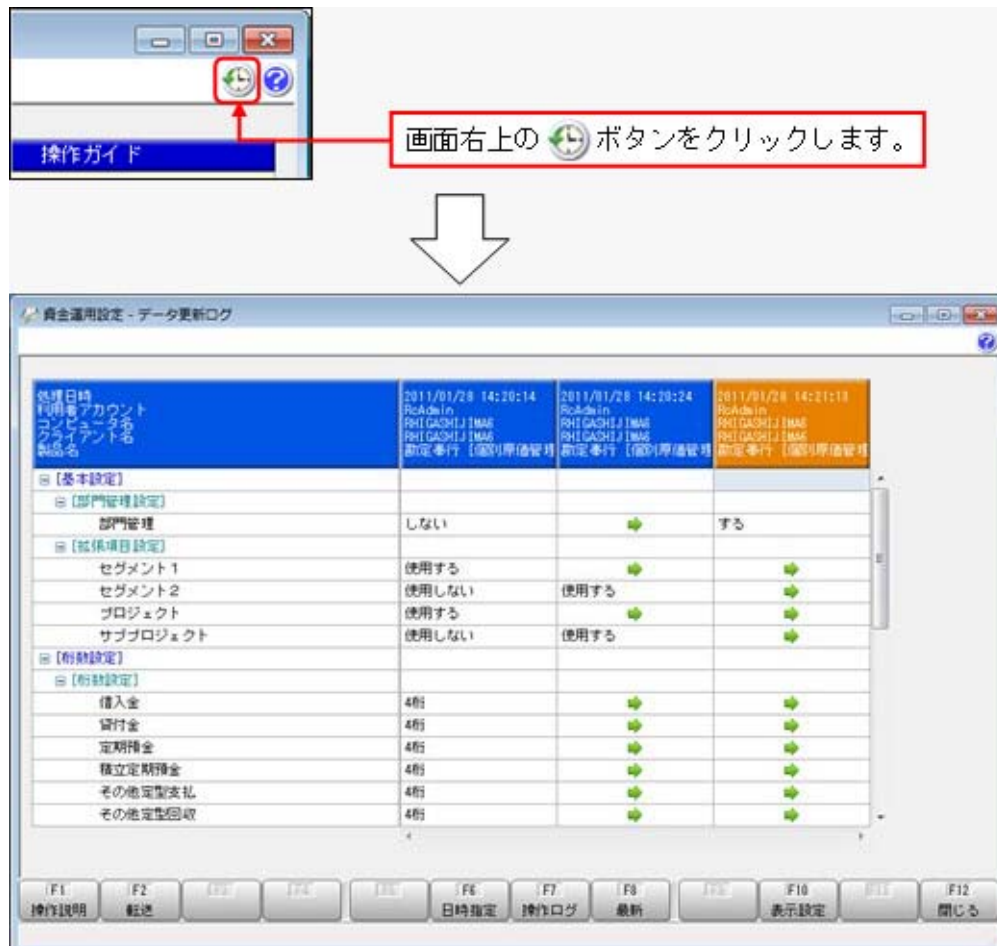
## 《対象帳票》

- ・ 資金運用設定（[導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニュー）
- ・ 休日リスト（[導入処理]-[運用設定]-[休日登録]メニュー）
- ・ コードリスト（[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー）
- ・ 住所録（[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー）
- ・ 手形情報リスト（[導入処理]-[取引先登録]-[取引先登録]メニュー）
- ・ 請求締日区分リスト（[導入処理]-[取引先登録]-[請求締日区分登録]メニュー）
- ・ 支払締日区分リスト（[導入処理]-[取引先登録]-[支払締日区分登録]メニュー）

## 《導入処理》

- [資金運用設定]メニューに対して、過去に更新されたデータを一覧で確認できるように変更

[導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニューで、過去に更新されたデータの内容を時系列に一覧で確認できるようになりました。



- [資金運用設定]メニューで、各項目の入力方法を変更

[導入処理]-[運用設定]-[資金運用設定]メニューの選択項目の入力方法が、ラジオボタンで選択する方法から、数字を入力して選択する方法に変更になりました。



● **[回収方法登録]メニューの借方部門固定の項目名および選択肢を変更**

[導入処理]-[決済方法登録]-[回収方法登録]メニューの借方部門固定の項目名および選択肢を以下のように変更しました。

| 変更前                             | 変更後   |
|---------------------------------|---|
| 借方部門固定<br>「0：固定しない」<br>「1：固定する」 | 回収部門指定<br>「0：指定しない」<br>「1：固定値を指定する」<br>「2：初期値を指定する」 |

※「0：固定しない」⇒ 「0：指定しない」、「1：固定する」⇒ 「2：初期値を指定する」に変換されます。

動きは今までどおり変わりません。

また、「1：固定値を指定する」「2：初期値を指定する」のどちらを設定しても動きは変わりません。

● **[支払方法登録]メニューの貸方部門固定の項目名および選択肢を変更**

[導入処理]-[決済方法登録]-[支払方法登録]メニューの貸方部門固定の項目名および選択肢を以下のように変更しました。

| 変更前                             | 変更後   |
|---------------------------------|---|
| 貸方部門固定<br>「0：固定しない」<br>「1：固定する」 | 支払部門指定<br>「0：指定しない」<br>「1：固定値を指定する」<br>「2：初期値を指定する」 |

※「0：固定しない」⇒ 「0：指定しない」、「1：固定する」⇒ 「2：初期値を指定する」に変換されます。

動きは今までどおり変わりません。

また、「1：固定値を指定する」「2：初期値を指定する」のどちらを設定しても動きは変わりません。

《**資金管理処理**》

● **[債権データ連携]メニューで、他のシステムの債権データを受け入れる際の受入記号を変更**

[資金管理処理]-[債権債務データ連携]-[債権データ連携]メニューで、他のシステムの債権データを受け入れる際の受入記号を以下のように変更しました。

※以下の項目以外の受入記号は変更ありません。

| 変更前                 | 変更後                 |
|---------------------|---------------------|
| セグメント1コード：SSSS020   | セグメント1コード：GCJS303   |
| セグメント2コード：SSSS021   | セグメント2コード：GCJS304   |
| プロジェクトコード：SSSS022   | プロジェクトコード：SSSS013   |
| サブプロジェクトコード：SSSS023 | サブプロジェクトコード：GCJS306 |
| 回収方法：SSSS024        | 回収方法：GCJS011        |

● **[債務データ連携]メニューで、他のシステムの債務データを受け入れる際の受入記号を変更**

[資金管理処理]-[債権債務データ連携]-[債務データ連携]メニューで、他のシステムの債務データを受け入れる際の受入記号を以下のように変更しました。

※以下の項目以外の受入記号は変更ありません。

| 変更前                 | 変更後                 |
|---------------------|---------------------|
| セグメント1コード：BSBS020   | セグメント1コード：GDJS303   |
| セグメント2コード：BSBS021   | セグメント2コード：GDJS304   |
| プロジェクトコード：BSBS023   | プロジェクトコード：BSBS013   |
| サブプロジェクトコード：BSBS024 | サブプロジェクトコード：GDJS306 |
| 支払方法：BSBS025        | 支払方法：GDJS011        |

◀**随時処理**▶

● **[取引先データ受入]メニューで、不要な受入記号があっても受け入れられるように変更**

今までは、OBC受入形式の汎用データを受け入れる際に不要な受入記号があると、その汎用データ全体がエラーとなり受け入れられませんでした。

当バージョンからは、不要な受入記号のデータは無視して受け入れられるようになりました。これにより、例えば『債権管理Proオプション』で作成した汎用データを『資金管理オプション』で受け入れられるようになりました。

◀ **関連メニュー** ▶

・ [自動実行管理]-[汎用データ受入]-[自動実行取引先データ受入（債権債務）]メニュー

※『自動実行管理オプション』をお使いの場合に使用できます。

◀**自動実行管理**▶

◀『**自動実行オプション**』をお使いの場合▶

● **[自動実行取引先データ作成]メニューを追加**

[自動実行管理]-[汎用データ作成]-[自動実行取引先データ作成]メニューが追加されました。

● **自動実行取引先データ受入で、汎用データ全体がエラーとなった場合でも実行済フォルダに移動するように変更**

受入記号が正しくないなどの理由で汎用データ全体がエラーとなった場合でも、受入元ファイルが実行済フォルダに移動するようになりました。

※汎用データ全体がエラーとなった場合は、[スケジュール履歴]メニューでは失敗処理として表示されます。また、エラー内容がログファイルに記載されます。

勘定奉行 **VERP**

# 機能アップガイド

資金管理オプション

< Ver.1.53/Ver.1.51/Ver.1.50 >



OBIC BUSINESS CONSULTANTS CO.,LTD.

|                         |   |
|-------------------------|---|
| [取引先データ作成]メニューで、検索条件を強化 | 2 |
|-------------------------|---|

## 注意

機能アップによって新しく追加されたメニューが画面に表示されない場合は、[権限管理]メニューで利用者ごとにメニュー権限を設定してください。

### ● [取引先データ作成]メニューで、検索条件を強化

[随時処理]-[汎用データ作成]-[マスターデータ作成]-[取引先データ作成]-[取引先データ作成]メニューで、作成する取引先データについて、詳細な検索条件を設定できるようになりました。

※この機能アップのため、当バージョンにバージョンアップすると、以前のバージョンで設定した[取引先データ作成 - 出力条件設定]画面の[出力設定]ページ・[項目選択]ページの設定内容が初期化されます。